

## 第 1 章 中長期計画の中期計画（平成 23 年度～25 年度）実績について

### 第 1 節 中長期計画委員会

中長期計画では、その進捗状況を確認するため委員会を設け、3 年おきに利用者家族アンケート等も行い計画の達成度や新たな課題の発掘に努め計画に反映させることと記されています。前回は短期事業年度（H21～22 年度）の実績を検証、今回は中期事業年度（H23～25 年度）の検証を実施いたしました。前回同様のアンケートや聞き取り調査等も実施しております。

中長期委員会は平成 26 年 4 月 22 日の準備会を経て 5 月 14 日の第 1 回委員会において清家浩之常務理事を含む 13 人の委員全員が出席、委員会の設置要項を決定し委員長 菊池俊夫、副委員長 和家敦美を選任しました。検証の報告書(案)は平成 27 年 1 月 28 日開催の第 5 回委員会で決定しました。

利用者ご家族様へのアンケートは平成 26 年 7 月 10 日付で依頼書（参考 1）を添えて、各施設ごとに無作為に抽出した 30 人にお願しました。記入者は無記名とし回収率を上げるために、法人本部への郵送か回収箱への投函を選択出来るようにしました。なお、利用者数が 30 人に満たない施設においては全員に依頼し、法人全体での依頼総数 901（前回 624）、回収率 70.9%（前回 72.1%）でした。

## 第2節 中期計画の検証

### (1) 法人本部

平成23年度から25年度までの中期計画を検証するのに、平成23年7月15日に発生した明間保育園お泊り保育での事故は法人事業計画に大きな影響を与えることとなりました。

事故後の検証を踏まえ、近年の事業規模拡大に対応した管理体制を整えること、組織内部の充実を図ることを目的として、事業部制の導入、リスクマネジメント体制の構築、人材育成システムの構築の3項目について重点的に取り組むこととしました。

まず、事業部制の導入については、平成24年4月から老人事業部、障がい事業部、児童事業部を編成し事業部長を配置しチェック機能の強化や専門的な調査研究の促進を図ることとしました。

次に、リスクマネジメント体制の構築については、平成23年11月から副施設長、管理者を中心に現状把握を行い事業所ごとのリスクマネジメントマニュアルを作成しリスクの軽減に努め、平成25年4月からはマニュアルが有効に機能しているか内部監査を実施することとしました。

そして、人材育成システムの構築については、平成24年4月から専任の人材育成担当者を配置し、各事業所のOJTリーダーと共に人材育成計画をもとに活動し人を育てる職場環境の確立に努めることとしました。平成25年度には厚生労働省の成長分野等人材育成支援事業助成金制度を活用し大手コンサルタント会社による中堅職員研修会を実施しました。また、高品質なサービスを提供するには働きがいの感じられる職場からという想いにより平成24年10月から働きがい向上プロジェクト（人事制度改定委員会）を発足させ、採用・雇用形態の変更、等級・役職体系の整備、評価制度の変更、賃金制度の変更について検討し平成26年4月より新人事制度に移行することとしました。

施設整備関係では、平成23年4月、4か所目のあんしんの家となる「ななほし中川」を開設し学童保育を併設し運営を開始しました。また平成25年12月には同敷地内に「グループホームうつのみやさんの家」を新築し定員を3名増員し9名で移転することとなりました。

平成24年4月には機能訓練部門の充実を図るためリハビリ室を設置し、平成25年7月には午前午後ともに定員10名の2部制による「リハビリ専門デイサービス歩」を開設しました。

社会福祉法人吾子苑から事業譲渡の申し出のあった児童養護施設吾子苑を「ひまわりの家」として平成26年4月からの開設を目指しました。また、2年後の移転に向けて建設候補地の地元説明会を実施し地権者の内諾を得ました。

医療分野への展開として平成25年11月にしばた胃腸科内科の土地建物を購入、三間町の開業医を招へいし平成26年6月からの社会福祉法人立松葉診療所の開院を目指しました。

中期計画の検証をもとに今後の事業展開としては、福祉と医療の連携を図り、在宅への取り組みを深め、誰もが安心して住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう地域包括ケアシステムの整備を推進していきます。また、そのことは社会福祉法人による地域貢献としても期待されることであり、なお一層信頼される組織となるよう努めてまいります。

## (2) 養護・障がい事業部

平成 25 年度より、障害者総合支援法となり、松葉学園では、新たに幼児・児童に対する事業「ぼのぼの」を新設して、児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業・保育所等訪問支援事業を展開しています。

また、就労継続（B 型）支援事業では、平成 26 年度より新築移転となる「西予市民病院」の売店をコンビニ化し売り上げ増を目指し、利用者工賃のアップをしていく予定です。

また、生活介護・施設入所支援・短期入所・グループホーム夢の家の各事業も、ほぼ定員を満たす利用状況となっています。

一方、希望の森では、生活介護・施設入所支援・短期入所・相談支援事業所を併設しながらグループホーム夢の家のバックアップにも当たっています。そして、通所利用者の増をより一層図っていく計画です。

養護部門では、平成 26 年度より、児童養護施設「ひまわりの家」の事業を運営することとなり、平成 28 年度からの西予市移転に向けて動きを加速しているところであります。

今後とも、各施設・事業において、利用者の安全・安心をより一層図る為に、リスクマネジメントを徹底し、事故のない生活・支援・環境づくりに努めて参ります。

## (3) 児童事業部

平成 24 年度から法人が事業部制になり、児童事業部の取り組みとして、全国規模の研修会への積極的参加や、保育カウンセリング講演会・巡回保育指導の開催、資格取得の助成を行うことで、より多くの職員が資格取得をしたり、専門的な研修会への参加により職員の資質向上を図っています。

少子化問題や、都会では待機児童、地方では定員割れなど子育てをめぐるさまざまな課題を解決するため、平成 24 年に「子ども・子育て支援法」という法律が制定されました。国の制度が変わることを受けて、新制度の説明会への参加や、認定こども園の先進地へ視察研修、プロジェクト委員会で会合を重ねてまいりました。

幼稚園と保育園の機能や特徴を併せ持ち、地域の子育て支援も行う施設であるところの認定こども園を、うわまち東保育園とうわまち南保育園を合併する形で、新たに設立して、平成 29 年度からの事業開始を目指しております。

老人事業部で、法人内保育についてプロジェクトを進めていましたが、夜間延長保育として運用することになり、平成 26 年度から宇和保育園にて事業開始の運びとなりました。学童保育や、他の保育園への迎えも行うため、ご好評をいただいております。

平成 22 年度から事業を開始しております下宇和保育園での学童保育「明下田クラブ」に加えて平成 25 年度から、ななほし中川での学童保育も児童事業部で取り組むことになりました。ニーズが多く定員を割ることはありません。校區別に欲しいとの声も上がっているくらいで、今後ますます必要な事業であると感じております。

平成 23 年 7 月、明間保育園での溺水事故は私たちに大きな教訓を残しました。リスクマネジメントプロジェクト委員会を立ち上げ、社会保険労務士の指導の下、副園長を中心にそれぞれの施

設のリスクを見直し、マニュアルの作成や、職員研修会を開催しました。翌 25 年度から内部監査を行い、互いにチェックをしたり学び合って改善に努め、リスク管理を行っております。

施設整備においては、耐震診断を受けて、改修工事を行ったり、総合遊具の更新をしたり、フェンスの取り付けや、園庭の全面芝生化など、各施設の状況に応じた整備を行っております。

また、生ごみ処理機の購入やコンポストの活用などで、地球に優しく環境に配慮した経営に努力しております。

南海トラフ地震を想定して、原子力災害避難計画の策定をし、愛媛県原子力防災訓練に参加しました。今後改善しながらいろいろな場面を想定した計画や、事業継続計画について、取り組んでまいります。また、備蓄用品も内容を検討し、数量や種類を増やして、非常時対応に備えてまいります。

平成 27 年 4 月から「子ども子育て支援新制度」が本格的にスタートします。幼稚園や保育園の他に、認定こども園や、小規模保育事業など施設が増え、子育て支援事業が充実とともに、保護者の選択肢が増えていくものと思われまます。

法人内の 7 つの保育園は、ここ数年低年齢児の入園が多く、平成 25 年度は全体で 98%の利用率で、ほぼ定員を満した状況が続いております。子育て支援センターや一時保育や在宅児支援をきっかけに入園につながっております。

平成 26 年度は、子育て支援として「三浦保愛基金」の事業を受け、「プレママ制度」を実施いたしました。妊産婦の方を対象に、保育園の特性を生かし、育児講座や触れ合いの場を提供し、安心して子育てをしてもらえるようにサポートを行い、地域福祉の貢献につなげてまいります。

平成 29 年度をピークに人口が減少していくと言われており、時代の状況や制度の変化を把握して新たな事業に取り組んでいく柔軟な姿勢をもつとともに、保育の原点を見失わず、それぞれの地域性を生かした保育を展開してまいります。

#### (4) 老人事業部

中期事業年度（平成 23～25 年度）を振り返りますと、平成 23 年 7 月にななほし中川を新設。平成 25 年 12 月には GH うつのみやさんの家をななほし中川隣接地へ移転新築し、定員も 3 名増加しました。更に、軽費老人ホームケアハウスれんげは平成 23 年 7 月に、ケアハウスはまゆうは平成 25 年 4 月に、それぞれ特定入居者生活介護事業を開始し、利用者の多様なニーズに応える環境を整えました。

また、平成 25 年度に導入された法人内の事業部制に伴い、部内の連携や最新介護保険情報・地域の状況・実地指導などの把握に努め、各事業所経営に活かせる体制が出来つつあります。そして、入所サービスと在宅サービスの互いの機能を強化できるようにそれぞれのバックアップ施設を再編しました。

各事業所の経営状況は、堅調にすすんでいる特養等事業所とサービス提供時間を延長し、

滞在型機能を強化したにもかかわらず、収支状況の悪化をたどるデイサービス事業所の二極化が顕著な形になっています。特にお泊りデイサービスやサービスつき高齢者向け住宅、有料老人ホームなど様々な事業形態へのニーズが高まる中、当法人での各サービスの利用者満足度を上げる必要性を感じております。

その上で、次期（平成 27 年 4 月）介護報酬改定は各事業とも厳しいマイナス改定が予想され、堅調であった特養経営も人材確保とともに困難な時代が待ち受けております。国がすすめる地域包括ケアシステムの中で、事業部としてどういう使命を持ち、どんな役割が出来るのかをしっかりと検討し、明確に実践していくことが法人の安定経営に寄与するものと考えます。

## 第2章

### 第1節 理念・法人目標・数値計画

#### ○基本理念

- 一 老人に生きがいを
- 一 障がい者には希望を
- 一 子どもには大きな夢を

多様化されていく社会の要請に応じ、福祉サービスの拠点として、総合的、多角的な施設作りを展開し、子ども、老人、障害者そして地域社会と「共に生き、共に歩み、共に育つ」ことをモットーに、心豊かな地域社会作りをめざします。

#### ○基本方針

西予総合福祉会は、老人、障がい者、子ども、そして地域社会と「共に生き、共に歩み、共に育つ」を行動の指針として、基本理念を支える三つの力「顧客の満足」「職員の満足」「経営の満足」の向上に取り組みます。

- (1) 老人、障がい者、子どもの尊厳を守り、多様化する社会の要請に応じ、関わるすべての方々の福祉ニーズを的確に捉え、安心・安全な福祉サービスを展開します。
- (2) 福祉活動の財産は人であるとの考えに基づき、利用者中心の福祉実践、専門性の高い職員集団作り、職員の処遇整備を行い、人材育成に努めます。
- (3) 業務改善、経営の効率化、計画的な見直しのある施設整備をし、健全経営を保ちます。
- (4) 地域に支えられ必要とされる法人として、社会に貢献できる施設運営に取り組みます。

1 数値計画

(1) 地域に必要な福祉サービスの展開

項目		短期計画 H21～22 年度	中期計画 H23～25 年度	長期計画 H26～30 年度	
施設事業強化	障害者施設	実績	就労継続支援事業開始	障害者自立支援法に基づく体系移行	就労継続作業棟
			完了	H23 体系移行	
		実績	新グループホーム・ケアホーム建設	新グループホーム・ケアホーム事業開始	
			完了	H23 事業開始	
	乳幼児施設	実績	学童保育の実施	公立保育園移譲経営 2～4ヶ所	法人内保育施設整備計画
			完了	長期にて継続検討	
		実績		学童保育「ななほし中川」 運営開始	
				平成 25 年度運営開始	
		実績		夜間延長保育の検討・施設整備	
				施設設備完了	
	実績		認定こども園の検討	幼保連携型認定こども園の設立	
			認定こども園プロジェクト 委員会立上げ		
	高齢者施設	実績	特養、デイサービス あけはま荘・ケアハウスはまゆう・特養 松葉寮・ケアハウス れんげ施設移譲経営	あんしんの家 1 グループホームうつのみやさん の家移転廃止検討 游の里デイサービス 事業内容検討 ケアハウス特定施設事業開始	あんしんの家 1 明浜地区施設整備 計画
			移譲経営開始	游の里デイ事業内容長期にて 検討 うつのみやさんの家新築移転 ケアハウス 2 施設特定事業開 始	
		実績	あんしんの家移転		
完了					
その他	実績		游の里温泉事業内容検討	游の里温泉事業内容検討	
			長期にて継続検討		
新規事業取組	高齢者住宅 事業への参 入			定員 10 名程度	
				サービス付き高齢者向け 住宅検討	

(2) 業務改善、経営の効率化、施設整備

項目		短期計画 H21～22 年度	中期計画 H23～25 年度	長期計画 H26～30 年度
施設経営強化	職員給与 福利厚生	研修・被服助成の見直し	臨時・パート交通費見直し 給与・休暇の見直し	給与・休暇の見直し
	実績	継続実施	H22 年度実施 H25 年度完了	
	各種契約の 見直し	電気省力化設備設置 電気保守点検見直し	電気省力化設備設置 給食業務外部委託	給食業務外部委託
	実績	完了	電力1施設 給食一部施設完了	

項目		短期計画 H21～22 年度	中期計画 H23～25 年度	長期計画 H26～30 年度	
施設経営強化	障害者施設	実績	生ゴミ処理機 1 完了	軽自動車 1 1台購入 1台リース	軽自動車 1 ホロ付トラック 2 ワゴン車 4 普通乗用車 1 作業トラック 1 トラクター1 エアコン 20 箇所 パソコン 6 給湯用ボイラー
		実績	スプリンクラー設置 H23 年度完了	パソコン 4 完了	
		実績	駐車場整備 完了	テレビ 6 完了	
		実績	作業場・車庫整備 完了	エアコン 2 箇所 6 台完了	
		実績	食堂椅子・テーブル購入 完了	居室改修 完了	
		実績	元自活訓練棟改装 計画延期		
		実績	長期計画軽自動車 1 台 寄付金購入		
		実績	長期計画パソコン 2 台 購入		
	児童施設	実績	学童保育備品、固定遊具購入 完了	総合遊具更新 2 箇所 完了	総合遊具更新 1 箇所 カーテン更新 物置 1 耐震診断 3 箇所
		実績	パソコン 2 完了	エアコン 4 完了	
		実績		カーテンの更新 完了	
		実績	プリンター1 2 台購入 砂場日除けテント張替完了	砂場日除けテント張替 短期実施	
		実績	乳児室ロッカー1 完了	物置 1 完了	
		実績	人工芝 2 園完了	生ゴミ処理機 3 生ごみ処理機 1 台完了	
		実績	ベランダひさし取付 完了	調理台 完了	
		実績	下駄箱 完了	ロッカー 未整備	



施設経営強化	児童施設	実績	フェンス更新、エアコン設置←	ベランダ塗装		
			フェンス更新、エアコン配置 ベランダ塗装 完了	短期実施		
		実績		耐震診断 1箇所		
				1箇所完了		
		実績		耐震工事		
				1箇所実施		
	高齢者施設	実績	ワゴン車 1	ワゴン車 2 軽自動車 2	ワゴン車 2 マイクロバス 1 軽自動車 4 エアコン 65 娯楽室段差解消 特殊浴槽 4 入浴リフト 2 ボイラー4 濾過装置 空調設備 ナースコール 研修施設	
			中期計画 1完了	完了		
		実績	リフト車 1	エアコン 65		
			補助申請不採択	長期計画へ		
		実績	緊急避難用扉設置	火災報知器センサー35		
			完了	一部 完了		
		実績	火災報知器センサー10	専用リビング・厨房整備		
			4か所更新	特殊浴槽 1 個室浴設置		
		実績	専用リビング整備	ユニットバス完備 4		
完了			部屋 浴槽、洗い場の拡張			
実績	健康器具整備	1箇所 ナースコール				
	中期計画に延期	特浴完了 他長期計画に変更				
実績	ボイラー1	冷凍冷蔵庫スチームオープン				
	更新					
実績	ナースコール	完了				
	計画見直し					

(3) 生活の質を高める施設運営

①人材確保計画

中期計画実績

計画作成時には中途退職者数を考慮しない数値で正職員採用計画を作成する。

平成 23 年度に 4 人、24 年度に 8 人、25 年度に 8 人の中途退職者（正職員）があったため、その減少分を考慮し修正する。

平成 26 年度の人事制度改定により、嘱託職員、臨時職員を正職員に登用させることとし、正職員比率は 60%台後半を示すこととなる。

〈西予総合福祉会職員採用計画：H27 年 1 月修正〉

年度	正職員数	正職員採用数	嘱託職員	臨時職員	パート職員	総数	新規事業	退職職員数					正職員比率%
								正職員数	嘱託職員	臨時職員	パート職員	計	
20	171	10	15	119	113	418		10		19	18	47	40.9
21	212	51	13	154	141	520		20	1	14	33	68	40.8
22	216	24	17	159	145	537		14	1	20	20	55	40.2
23	225	22	16	161	162	564		7	0	25	33	65	39.9
24	237	23	21	146	178	582		10	1	18	32	61	40.7
25	247	26	27	142	183	599		16	2	19	23	60	41.2
26	430	199	0	0	203	633	※1※2※3	28	0	0	20	48	67.9
27	450	48	0	0	210	660	※4	7	0	0	20	27	68.2
28	460	17	0	0	215	675	※5	12	0	0	20	32	68.1
29	460	12	0	0	220	680	※6	6	0	0	20	26	67.6
30	460	6	0	0	220	680		14	0	0	20	34	67.6
		438						144	5	115	259	523	

(実績：20 年度～25 年度 計画：26 年度以降)

※1 平成 26 年度 児童養護施設 ひまわりの家 設置経営

※2 平成 26 年度 松葉診療所 開院

※3 平成 26 年度 リハビリ専門デイサービス 歩みま店 事業開始

※4 平成 27 年度 養護老人ホーム 三楽園 受託

※5 平成 28 年度 ひまわりの家 移転新築 情緒障害児短期治療施設 事業開始

※6 平成 29 年度 認定こども園 事業開始

## ② 人材育成

対人援助、介護、保育等社会福祉の現場に必要とされる技術や知識のレベルは年々高まってきたており、必要とされる資格要件も示されることが多くなってきました。資格取得や研修の啓発を行い、質の高いサービスを実践できる人材育成に取り組みます。

施設種別	資格取得・研修等	短期計画 H21～22年度	中期計画 H23～25年度	長期計画 H26～30年度
障害者施設	社会福祉士	2人	6人	6人
	実績	1人	1人	
	介護福祉士	2人	4人	10人
	実績	1人	4人	
	サービス管理責任者研修	6人	4人	10人
	実績	8人	18人	
乳幼児施設	初級カウンセラー	2人	12人	12人
	実績	8人	11人	14人
	中級カウンセラー			1人
	実績	1人	1人	
	福祉施設長専門研修		6人	3人
	実績	1人	0人	
	新規：QC入門講座研修	0人		
実績	2人			
高齢者施設	介護福祉士	14人	47人	37人
	実績	19人	44人	
	介護支援専門員	4人	6人	5人
	実績	1人	1人	
	社会福祉士		4人	2人
	実績	1人	1人	
	管理栄養士		1人	
	障害福祉サービス管理責任者研修		1人	
	実績		1人	
	ユニットリーダー研修	2人	2人	2人
	実績	5人	4人	
	認知症介護実践者研修	1人	3人	2人
	実績	3人	9人	
	認知症対応型管理者研修		2人	1人
実績		1人		

#### 中期計画実績

資格取得を奨励する為の資格取得にかかる旅費、宿泊費等の補助制度や取得者に対する手当制度の導入などを進めた結果、上記のような実績を上げることが出来ました。また、障害施設の入居者様も高齢となり、専門性を持った介護福祉士の資格者も必要となってきています。社会福祉士、介護支援専門員の資格取得者が予定数に達していませんが、長期計画において推進いたします。

#### <資格取得等計画>

- 平成 24 年度までに高齢者施設常勤介護職員の 60%を介護福祉士とします。

#### 中期計画実績

平成 24 年度末 高齢者施設常勤介護職員の 52.5%(95 人/181 人)が介護福祉士の資格を取得していますが、資格取得計画の 60%には達していません。平成 25 年度末でも 53.0%(96 人/181 人)となっています。更なる推進を行い、質の高いケアが提供できるよう取り組んでまいります。

(4)財務計画

計画: 内部留保金額……単年度1億2千万円

内部留保金額 中期計画実績

平成23年度決算後、中期計画年度での内部留保金額実績を以下に示します。

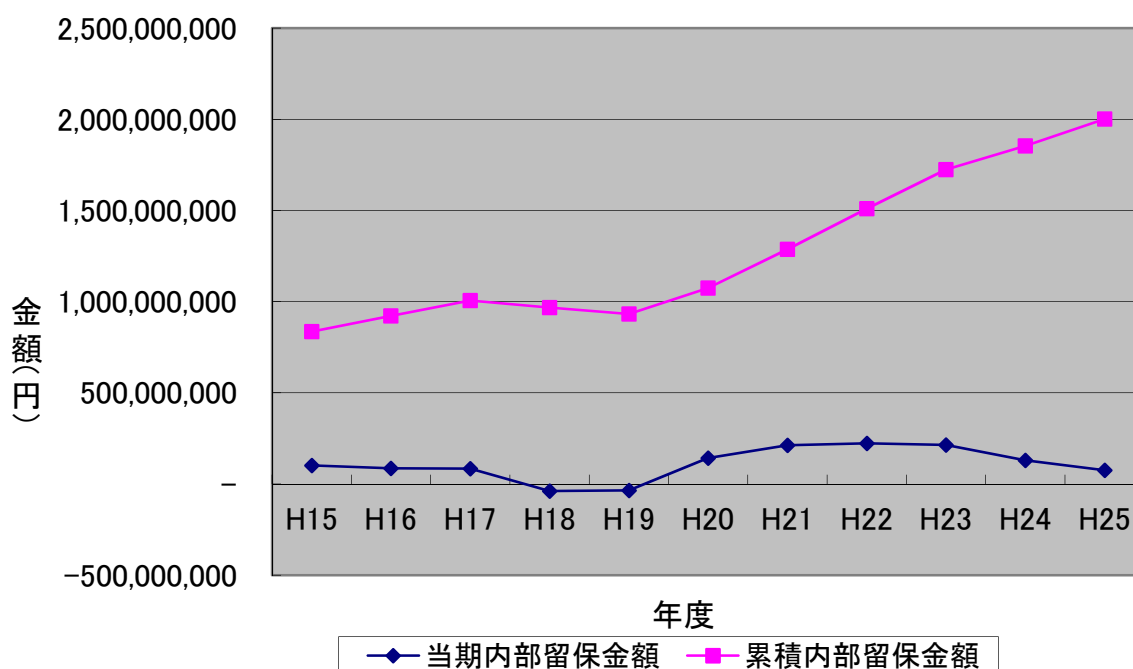
老人事業部では、あんしんの家を含むデイサービス事業では他事業者との競合等により減収の傾向にあり、また、特定施設へ移行したケアハウスれんげ、はまゆうは増収となった。障がい事業部では、松葉学園、希望の森ともにどの事業も依然好調に推移している。児童事業部では、途中入園に対応できるバランスのとれた職員配置に努め収益を確保した。

単年度内部留保金額は、平成23年度約2.1億円、24年度1.3億円、25年度0.8億円の実績で25年度は目標の1.2億円を達成することができなかった。これはグループホームうつのみやさんの家の新築資金、松葉診療所土地建物の買収資金など投資的な支出が影響したと考えられる。

内部留保金額

	積立預金取崩収入	積立預金積立支出	当期資金収支差額	当期内部留保金額	累積内部留保金額	備考
平成15年度	-11,505,000	49,515,000	63,418,739	101,428,739	835,767,627	松葉学園建設
平成16年度	-59,431,000	57,280,000	87,567,162	85,416,162	921,183,789	
平成17年度	-2,000,000	40,600,000	46,076,029	84,676,029	1,005,859,818	
平成18年度	-97,276,000	77,482,708	-18,276,239	-38,069,531	967,790,287	希望の森新住居棟
平成19年度	-155,000,000	62,000,000	57,572,184	-35,427,816	932,362,471	皆楽園建設
平成20年度	-15,000,000	2,000,000	155,437,486	142,437,486	1,074,799,957	皆楽園
平成21年度	-821,000	74,000,000	139,305,905	212,484,905	1,287,284,862	あけはま荘
平成22年度	-	78,413,029	144,767,661	223,180,690	1,510,465,552	
平成23年度	-14,000,000	124,800,000	103,680,402	214,480,402	1,724,945,954	明間保育園事故
平成24年度	-25,000,000	9,684,000	144,991,456	129,675,456	1,854,621,410	
平成25年度	-	9,300,000	66,097,743	75,397,743	2,000,948,002	GH建設・診療所購入

内部留保金額



①生産性について

計画:1人当たり30万円台の確保を目指したいと考えております。

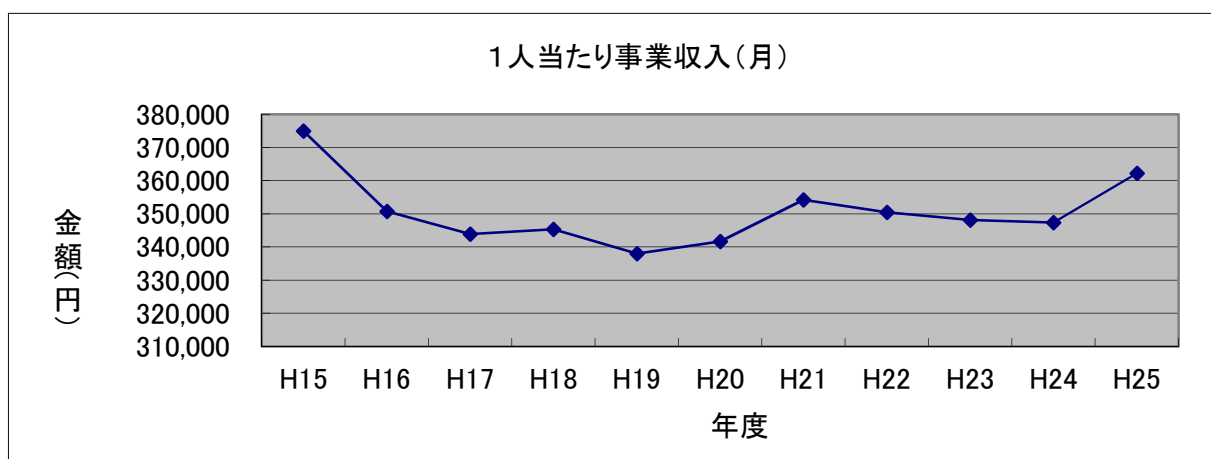
中期計画実績

平成23年度事業収入は月額約1.9億円、24年度2.0億円、25年度2.2億円と順調に推移し、1人当たり事業収入(月)は、平成23年度は348,129円、24年度347,376円、25年度362,272円と目標金額30万円台を確保することができた。

生産性

1人当たり事業収入(月)

		事業収入/12	平均従事者数	1人当たり事業収入(月)
1	平成15年度	109,863,944	293	374,962
2	平成16年度	113,307,121	323	350,796
3	平成17年度	115,880,317	337	343,859
4	平成18年度	114,647,019	332	345,322
5	平成19年度	118,647,114	351	338,026
6	平成20年度	142,810,818	418	341,653
7	平成21年度	181,380,900	512	354,260
8	平成22年度	185,067,529	528	350,507
9	平成23年度	193,211,447	555	348,129
10	平成24年度	200,088,770	576	347,376
11	平成25年度	217,000,950	599	362,272



計画:人件費については人件費率66%程度、26万円を維持していきたいと考えます。

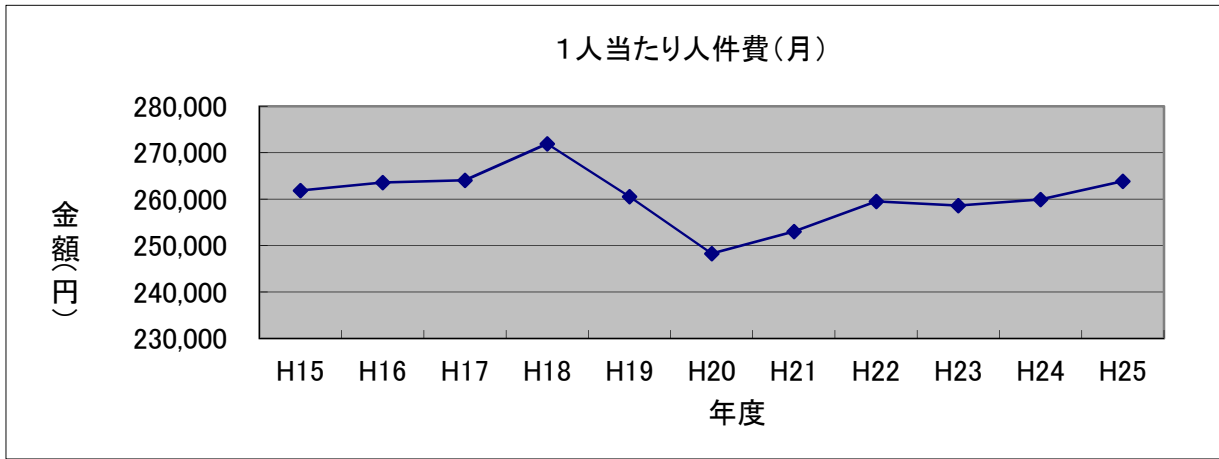
中期計画実績

平成23年度は258,655円(人件費率=66.2%)、24年度259,968円(人件費率=69.0%)、25年度263,883円(人件費率=69.9%)とほぼ計画通りではあるが年々上昇傾向にある。

生産性

1人当たり人件費(月)

		人件費/12	平均従事者数	1人当たり人件費(月)
1	平成15年度	76,726,960	293	261,867
2	平成16年度	85,138,522	323	263,587
3	平成17年度	89,002,761	337	264,103
4	平成18年度	90,286,018	332	271,946
5	平成19年度	91,448,546	351	260,537
6	平成20年度	103,786,628	418	248,293
7	平成21年度	129,555,607	512	253,038
8	平成22年度	137,033,382	528	259,533
9	平成23年度	143,553,780	555	258,655
10	平成24年度	149,741,702	576	259,968
11	平成25年度	158,066,148	599	263,883



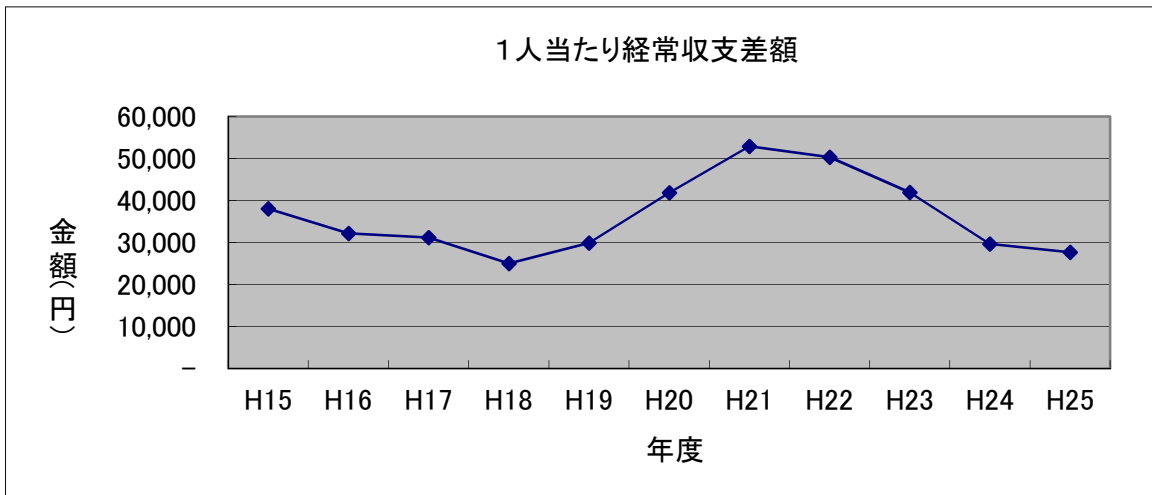
計画: 経常活動収支差額については、5年間月当たり約1千万円程度で推移しており、職員の増加により1人当たりの金額は減少しております。しかし、目標としては3万3千円程度としたいと考えています。

**中期計画実績**  
 1月当たり経常活動資金収支差額は平成23年度約2千3百万円、24年度1千7百万円、25年度1千7百万円と計画数値を上回ってはいるが、1人当たり経常活動資金収支差額(月)は平成23年度41,906円、24年度29,662円、25年度27,652円と平成24年度より目標額(=33,000円)を下回る事となった。

生産性

1人当たり経常収支差額(月)

		経常収支差額/12	平均従事者数	1人経常収支差額(月)
1	平成15年度	11,145,406	293	38,039
2	平成16年度	10,401,231	323	32,202
3	平成17年度	10,515,957	337	31,205
4	平成18年度	8,293,253	332	24,980
5	平成19年度	10,501,626	351	29,919
6	平成20年度	17,487,300	418	41,836
7	平成21年度	27,107,969	512	52,945
8	平成22年度	26,580,052	528	50,341
9	平成23年度	23,257,863	555	41,906
10	平成24年度	17,085,315	576	29,662
11	平成25年度	16,563,294	599	27,652



②収益性について

計画：経常活動資金収支差額を総資産、事業収入との比較により収益率を求めました。総資本経常収益率は、平成15年度と19年度を比較すると総資産が12億円増加し、利益率が3.5%減少しています。皆楽園、希望の森、宇和保育園などの建物資産の増加によるもので公立福祉施設を受託経営する21年度以降もこの傾向は一定期間続きます。しかし、減価償却等により目減りをする資産も高額となり、そのバランスの中で5%台を維持したいと考えます。

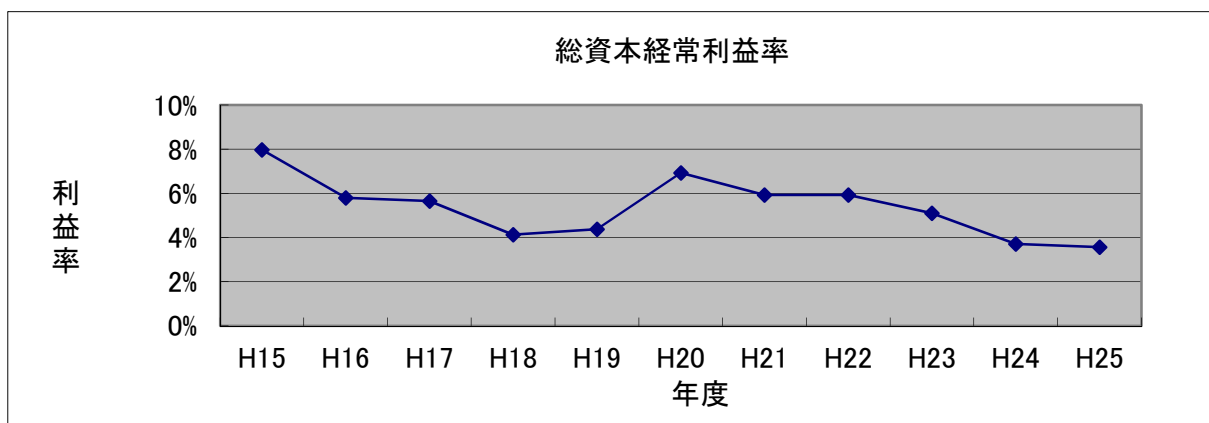
中期計画実績

平成23年度5.11%、24年度3.71%、25年度3.56%と目標の5%台を維持することができませんでした。

収益性

総資本経常利益率

		経常収支差額	総資産	総資本経常利益率
1	平成15年度	133,744,871	1,679,231,595	7.96%
2	平成16年度	124,814,773	2,155,122,285	5.79%
3	平成17年度	126,191,480	2,234,782,892	5.65%
4	平成18年度	99,519,031	2,411,225,274	4.13%
5	平成19年度	126,019,507	2,875,397,894	4.38%
6	平成20年度	209,847,605	3,027,755,638	6.93%
7	平成21年度	325,295,633	5,484,437,516	5.93%
8	平成22年度	318,960,625	5,387,536,148	5.92%
9	平成23年度	279,094,353	5,465,853,102	5.11%
10	平成24年度	205,023,778	5,519,336,203	3.71%
11	平成25年度	198,759,533	5,579,666,543	3.56%



計画：事業収入経常利益率は、平成19年度で8.85%であります。今後の事業費単価の不透明さもあり6%後半を維持する事を目標としたいと考えております。

中期計画実績

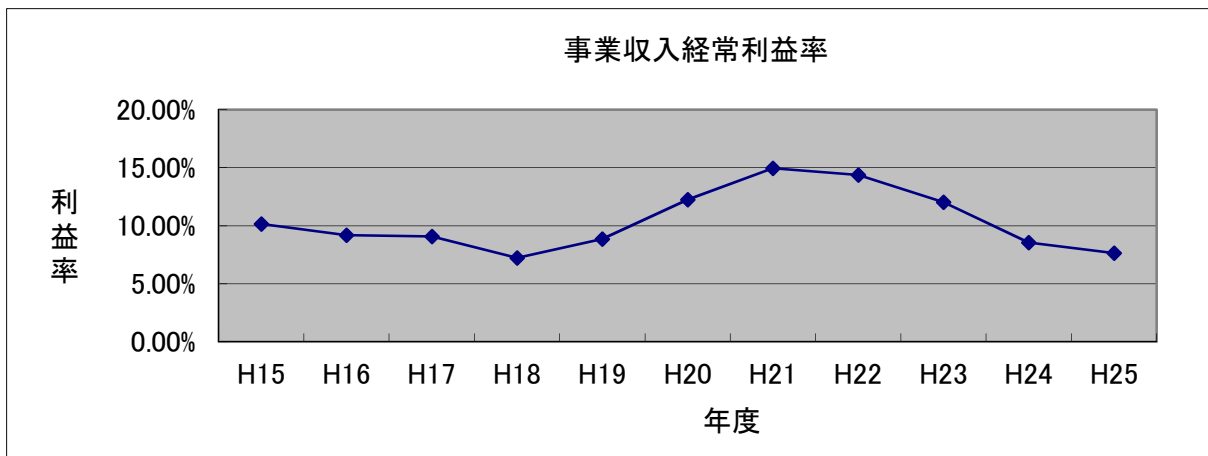
平成23年度12.04%、24年度8.54%、25年度7.63%と目標を達成できました。

収益性

事業収入経常利益率

		経常収支差額	事業収入	事業収入経常利益率
1	平成15年度	133,744,871	1,318,367,325	10.14%
2	平成16年度	124,814,773	1,359,685,450	9.18%
3	平成17年度	126,191,480	1,390,563,803	9.07%
4	平成18年度	99,519,031	1,375,764,224	7.23%
5	平成19年度	126,019,507	1,423,765,365	8.85%
6	平成20年度	209,847,605	1,713,729,815	12.25%
7	平成21年度	325,295,633	2,176,570,794	14.95%
8	平成22年度	318,960,625	2,220,810,345	14.36%
9	平成23年度	279,094,353	2,318,537,365	12.04%
10	平成24年度	205,023,778	2,401,065,237	8.54%
11	平成25年度	198,759,533	2,604,011,404	7.63%





### ③安全性について

計画: 経常収入と経常支出を対比しながら経常収支比率を見てみると、106%～110%の間にあり、年間差額は9千9百万円から1億3千3百万円の収入増となっています。今後の目標として106%を目指し経営の安定に努めたいと考えます。

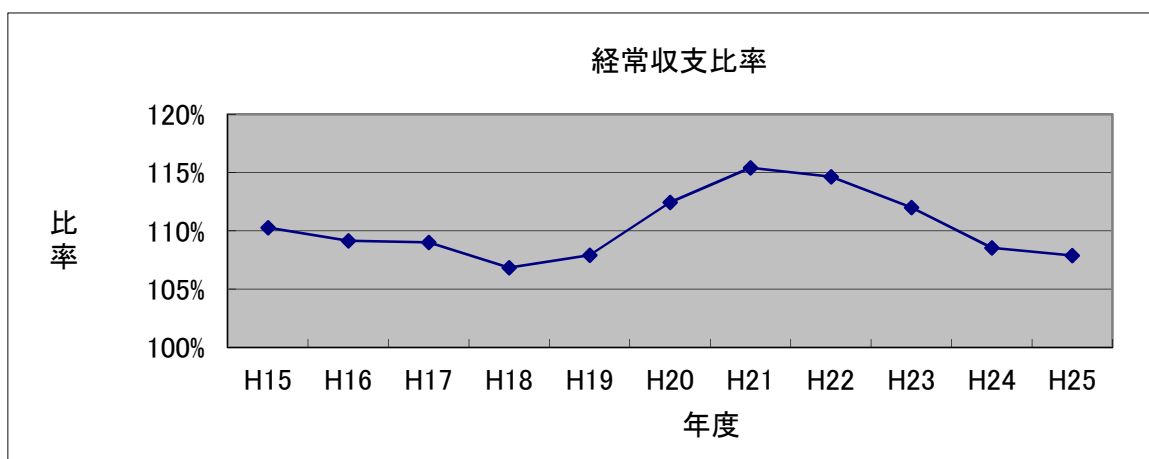
#### 中期計画実績

経常収支比率は、平成23年度112.02%、24年度108.55%、25年度107.90%と目標を達成することができたが、平成21年度115.42%をピークに年々比率が低下している。

#### 安全性

##### 経常収支比率

		経常収入	経常支出	経常収支比率
1	平成15年度	1,432,463,455	1,298,718,584	110.30%
2	平成16年度	1,487,027,625	1,362,212,852	109.16%
3	平成17年度	1,524,716,803	1,398,525,323	109.02%
4	平成18年度	1,550,932,939	1,451,413,908	106.86%
5	平成19年度	1,718,787,047	1,592,767,540	107.91%
6	平成20年度	1,893,667,380	1,683,819,775	112.46%
7	平成21年度	2,434,636,658	2,109,341,025	115.42%
8	平成22年度	2,494,725,238	2,175,764,613	114.66%
9	平成23年度	2,600,608,436	2,321,514,083	112.02%
10	平成24年度	2,602,437,998	2,397,414,220	108.55%
11	平成25年度	2,713,554,369	2,514,794,836	107.90%



参考

年度	減価償却費. 累計	年度	減価償却費. 累計
15	524,713,260	21	964,117,944
16	555,219,497	22	1,145,752,674
17	597,240,203	23	1,321,481,123
18	643,118,995	24	1,505,934,018
19	692,346,359	25	1,694,084,345
20	781,510,637		

平成21年度～30年度の主な計画数値

単位:円

年度	経常収入	経常支出	経常収支差額	事業収入	人件費
21	2,170,000,000	2,025,000,000	145,000,000	1,953,000,000	1,432,200,000
22	2,230,000,000	2,084,500,000	145,500,000	2,007,000,000	1,471,800,000
23	2,260,000,000	2,114,500,000	145,500,000	2,034,000,000	1,491,600,000
24	2,290,000,000	2,144,500,000	145,500,000	2,061,000,000	1,511,400,000
25	2,300,000,000	2,154,500,000	145,500,000	2,070,000,000	1,518,000,000
26	2,310,000,000	2,164,500,000	145,500,000	2,079,000,000	1,524,600,000
27	2,340,000,000	2,194,500,000	145,500,000	2,106,000,000	1,544,400,000
28	2,350,000,000	2,204,500,000	145,500,000	2,115,000,000	1,551,000,000
29	2,360,000,000	2,214,500,000	145,500,000	2,124,000,000	1,557,600,000
30	2,370,000,000	2,224,500,000	145,500,000	2,133,000,000	1,564,200,000

(5) 地域貢献

① 地域とともに歩む

ボランティア、研修生、実習生の受け入れを推進し、施設の開放に努めます。

- 年間1,620人のボランティア受け入れとありますが、中期検証では、年間平均約2,300人のボランティア受け入れをしています。保育では、短期検証に比べて2倍になっています。地域ボランティアのおかげと感謝いたしております。

ボランティア受入実績					
年度	単位	障害	保育園	高齢者	合計
H20	人数	468	460	523	1,451
H21	人数	346	454	656	1,456
H22	人数	361	958	811	2,130
H23	人数	340	1,189	729	2,258
H24	人数	197	1,055	704	1,956
H25	人数	178	1,236	1,224	2,638

② 地球に優しく

自然を愛し、環境に配慮した未来に続く経営に努めます。

○ 生ゴミのリサイクル化

中期計画実績

障害者2施設は短期計画より継続して100%リサイクル達成中。  
 保育園7園の内2園は目標を上回る実績を残していますが、あと5園も徐々に増え、今後も目標に向けて再度取り組んでいます。  
 高齢者施設では、あけはま荘、あけはまデイ、ケアハウスはまゆう、石城あんしんの家が100%リサイクルを維持しておりますが他の施設では長期計画での推進となりました。

○ CO2 排出量 10%削減（ガソリン・可燃ごみ 10%削減）

ガソリン消費量						
年度	単位	障害	保育園	高齢者	合計	20年比率
H20	ℓ	7,502	288	23,064	30,854	
H21	ℓ	8,515	232	25,470	34,217	111%
H22	ℓ	10,786	318	27,925	39,030	126%
H23	ℓ	14,351	222	35,735	50,086	162%
H24	ℓ	16,473	489	38,909	55,382	179%
H25	ℓ	19,712	908	40,100	55,400	180%

中期計画実績

CO2 排出量 10%削減となっておりますが、目標には達していません。障害者施設では新体系の移行に伴い、通所事業などで走行距離が大幅に増え、ガソリン消費量も増加しています。保育園では学童保育の送迎により増加しています。高齢者施設においては、平成 20 年度との対比では、事業内容や利用者様の増加の差はありますが、1.7 倍となっております。今後の更なる取り組みと新たな削減目標が必要と思われます。

可燃ごみ袋購入金額

年度	単位	障害	保育園	高齢者	合計	20 年比率
H20	円	122,000	110,800	632,300	865,100	
H21	円	103,000	104,644	709,000	916,644	106%
H22	円	144,000	85,776	622,800	852,576	99%
H23	円	116,000	87,735	1,030,500	1,234,235	143%
H24	円	109,200	107,783	986,500	1,203,483	139%
H25	円	112,800	71,436	907,000	1,091,236	126%

中期計画実績

目標の可燃ごみ 10%削減とはなっていません。利用者様や職員の増加に伴い、可燃ゴミの量は増加をしています。生ごみ処理機の設置に伴い、資源化には各施設の努力義務としています。リサイクルについては、今後の検討材料となっております。

○ 上水道使用量 10%削減

上水道使用量

年度	単位	障害	保育園	高齢者	合計	20 年比率
H20	m <sup>3</sup>	17,510	11,863	37,450	66,823	
H21	m <sup>3</sup>	20,220	11,404	37,361	68,985	103%
H22	m <sup>3</sup>	18,060	11,755	38,704	68,519	103%
H23	m <sup>3</sup>	16,116	11,507	54,710	82,333	123%
H24	m <sup>3</sup>	16,520	8,593	52,678	77,791	116%
H25	m <sup>3</sup>	20,148	8,707	53,894	82,749	124%

中期計画実績

目標の10%削減とはならず、法人全体では24%増えています。保育園では、全面芝生化の水遣りで多量に使用し、1園の水漏れも判明しました。しかし、節水の心掛けで全体では使用量を抑えています。障害施設で長期間に渡って水道管からの漏れがあり、それが全体の使用量を上げる結果となっています。貴重な水資源であり、職員一人一人の意識付けが必要だと考えます。

③ 災害対策：地震・津波災害の被災者への支援ができる体制作りを行ないます。

○ 水・食料3日分

(1人が3食×3日生活出来ることを1単位としています。)

非常用水、食糧備蓄					
年度	人	障害	保育園	高齢者	合計
H22	3日分	240	542	200	982
H25	3日分	155	264	510	929

※保育園は通園施設の為、通常は1人1日分1食として備蓄しています。

上記のデータでは数字を合わせるので1人が3食×3日生活出来ることを1としています。(1人1食 2,376人分)

中期計画実績

東日本大震災までは3日分の備蓄が努力義務となっていました。しかし、大規模の災害を想定すると7日分が必要となります。その為、保存場所や保存方法について協議をする必要があると思われます。また、避難された地域の方々を受け入れるとなると更に多くの備蓄が必要となってきます。地域との連携を含め、各種団体と結んでいる災害協定を万全なものとする為、防災意識を更に高める必要があります。

(6) その他

法人設立記念の日に、10年・20年・30年の永年勤続表彰を行います。

## 2 養護・障害者支援施設目標・数値計画

### (1) ひまわりの家

#### 目標概要

平成 26 年 4 月 1 日、宇和島市吉田町に本部のある社会福祉法人吾子苑から事業譲渡された定員 30 人の大舎制児童養護施設です。児童養護施設は愛媛県宇和島市吉田町立間尻甲 748 番地、施設建物は昭和 49 年建設の鉄筋コンクリート造 3 階建てで老朽化がすすんでおり、耐震診断も未実施です。(社福)吾子苑との事業譲渡契約等に基づき平成 27 年には西予市宇和町に新施設の建設を始め翌年には移転する計画であり、現在愛媛県担当課と協議中です。

計画している施設は木造 2 階建て、それぞれ小規模グループケアを実施し、児童養護 3 グループ(定員 20 人)、ショートステイ 2 人、児童心理治療 2 グループ(定員 10 人)です。

保護者のない児童や家庭環境上養護を必要とする児童に対し、公的な責任として社会的に養護を行う児童養護施設は全国に 595 か所(H25.10.1 現在)、県内では 10 か所あります。要保護児童数の増加や保護理由の複雑化等に対処するため施設の小規模化、家庭的養護の推進が求められています。また、入所児童の 53.4%(H20.2.1 現在)が被虐待児、障害等のある児童が 23.4%(H20 現在)であり、こうした児童への心理的ケアや生活指導には高度な専門性を有する職員が要求されます。

児童心理治療施設(情緒障害児短期治療施設)は全国に 38 施設、入所児童 1,310 人(H25.10.1 現在)で、軽度の情緒障害を有する児童を入所させ医療、心理療法、養護、教育を総合的に提供できる児童福祉法上の治療施設です。現在、愛媛県は未設置のため必要な場合は県外の行政や施設に依頼して入所することになります。この施設を児童養護施設に併設し平成 28 年には運営する計画をすすめています。児童精神科医師・小児科医師、看護師、臨床心理士など専門職の雇用や嘱託契約など解決すべき課題がありますが、愛媛県・西予市担当課や関係機関の指導を仰ぎながら準備を進めてまいります。

平成 26 年から 27 年は新施設建設の準備期間と位置づけ、職員の確保や専門性を高める研修、先進施設での実習や研修をおこない、28 年からの運営に支障が無いよう準備をしたいと思っております。

#### 経過の進行表

施設目標	数値計画	短期計画 H26～27 年度	中・長期計画 H28～30 年度	財源等 (単位：千円)
施設設備	施設建設(養護 20 人、心理 10 人、ショート 2 人)	県と協議、建設	移転運営開始	国・県補助、借入及び自主財源
	普通校・特別支援学校の分校あるいは分級設置	県教委、市と協議		

専門職の育成	社会福祉士 2 人	1 人	1 人	
	臨床心理士 2 人	1 人	1 人	
	基幹的職員研修 2 人	2 人		
	里親支援専門相談員 1 人		1 人	
地域貢献	福福まつりに替わる行事の実施 参加者 100 人程度	福福まつり実施	新行事実施	補助金 15 万円 自主 15 万円
災害対策	水・食糧 5 日分備蓄 50 人分	50 人分		
環境保全	上水道使用 10%削減			
	生ゴミ資源化 100%	100%		
	CO2 排出削減 10%		太陽光発電 10kw/h 設置	
第三者評価	3 年ごとに受審		受審	自主 30 万円

## (2) 障害者支援施設 希望の森

### 施設の目標

希望の森は、施設開設から 30 年を経て、社会情勢や障害者福祉施策の変化する中、利用者一人ひとりのニーズに、より柔軟に対応しながら、これまで培ってきた信頼と施設の持つ専門性を福祉サービスという社会資源として提供し、地域と共に生きる福祉の拠点としての希望の森をめざします。

#### 1) 安定・継続的事業の展開

経過の進行表の事業の新体系移行や移行に伴う住居確保・改修については終了しているため、中・長期計画では次の点において力を入れ事業を展開します。

##### ○在宅利用者へのサービスの充実

生活介護事業の通所利用者も徐々に増加し、また利用したいというニーズもあります。利用の形態も様々であるため、送迎体制の確保、またニーズに応じた内容のサービスが提供できるよう生活介護のサービス内容の見直し等を行い、利用者の方の選択の幅が広がり充実した日々が送れるようにしていきます。

短期入所について、緊急時の受け入れも含め可能な限り対応することで、利用者や家族が安心して生活できるように努めます。

相談支援事業の取り組みによりニーズの把握、迅速な対応、社会資源の確保、事業所等との連携を図り、地域での生活がより一層充実したものとなるようにしていきます。

#### 2) 人材育成

○サービス管理責任者・社会福祉士・介護福祉士資格取得については、別紙の通り。

○高齢化や重度化に対応できる職員の育成にも力を入れ、たん吸引等講習会への参加も促していきます。

○社会福祉職というプロとしての自覚を持ち、利用者が日常を心身ともに心地よく暮らしていけるよう、「当たり前のことをさりげなく支援できる職員」「自分の持っている個々の力を発揮し、チームとして取り組む姿勢をもつ職員」の育成を行います。

#### 3) 設備の改修・更新

○設備の改修・更新は別紙の通り。

○施設の建替えも視野に入れ、無駄のない施設整備や設備の改修等に取り組みます。

#### 4) 地球に優しい事業経営に努める

○上水道使用量を 10%削減します。

○資源のリサイクルを図り、可燃ゴミを 10%削減します。

○CO2 排出量を減らす為電気、ガス、ガソリン、重油等消費量ベースで 10%削減します。

○生ゴミの資源化を図り、100%削減を継続します。

#### 4) 地域とともに歩む福祉施設として、ボランティア受入人数 年間 100 人を目指します。

#### 5) 平成 28 年度までに、南海トラフ地震対策として、利用者、職員合計 80 人の水・食料 7 日分の備蓄を完了します。



### 中期計画実施状況等

平成 26 年 2 月には開園 30 周年記念式典を執り行い、改めてご家族や地域の皆様のお力添え、また、日々の積み重ねや継続して取り組むことの大切さを感じました。今後も、利用者の方一人ひとりの思いに寄り添い、地域貢献を視野に入れながらサービスや事業を展開していきます。在宅で生活介護通所利用者の方の利用も少しずつ増加しており、地域のニーズに答えながら、さらに安定した経営を行っていきます。

#### 【設備の改修・更新】

30 年という年月を経て、建物や設備等はかなり老朽化しており、すぐにではないが施設の建替え計画も視野に入れながら整備を進めています。居室等のエアコンについては毎年数台ずつ故障するため、利用者の方が不便をきたさないようその都度対応しています。また、雨漏りも発生していたため、平成 24 年度には、屋根の塗装工事を行いました。同じく 24 年度に、マイクロバス(中古)を購入し、利用者の方の外出やドライブに使用しています。利用者の方の高齢化と共に、居室のバリアフリー化や手すりの設置、平成 25 年度には浴室やトイレの改修工事を行い、利用者の方が自分の力を生かして快適に生活できるように努めました。

#### 【地球に優しい経営】

光熱水費に大きな変化や削減は見られておりません。通所利用者の受け入れ体制の充実(送迎や日中活動の充実)や利用者一人ひとりに合った暮らしの実現を目指すうえで、単純な削減は難しい状況です。節約できるところについては節約を行い地球に優しい環境作りに努めます。また、原発事故に対する施設防災計画を策定し、緊急避難先の受け入れ施設と提携を結びました。

#### 【地域と共に】

毎年ボランティアや地域の方々と協力しながら、地域の行事に参加し、地域の活性化にもつながっています。今後も引き続き、地域の中で人とのつながりを大事に希望の森ができることを少しずつ積み重ねていきます。

#### 【人材育成】

サービス管理責任者の研修は、計画的に受講出来ています。社会福祉士・介護福祉士等の資格についても、年々取得を志す職員が増えています。高齢化や重度化に対応できる職員の育成にも力を入れていき、社会福祉職というプロとしての自覚を持ち、利用者が日常を心身ともに気持ちよく暮らしていけるよう、「当たり前のことをさりげなく支援できる職員」「自分の持っている個々の力を発揮し、チームとして取り組む姿勢をもつ職員」の育成を行います。

### 経過の進行表

施設目標	数値目標	短期計画 H21～22 年度	中期計画 H23～25 年度	長期計画 H26～30 年度	財源等 (単位：千円)
事業の新体系移行	H23 年度中 生活介護・就労継続	障害程度区分 認定 ブロック作業 廃止	23 年度サービス 管理責任者 4 人 在宅利用者の		

			受入		
	実績	22年度末移行完了			
	居室の改修工事		定員40~45人の施設入所		
	実績	23年度から施設入所定員40人に減	23年度交流ホームトイレ改修、居住棟渡り廊下設置		3,340
	ケアホーム8~10人定員の開設		開設予定		自己資金 10,000
	実績	ケアホーム開設10人	23年度10人グループホーム夢の家へ移行		新築借家
	生ゴミ処理機	新規購入			自己資金 1,500
	実績	21年度購入済			1,450
	駐車場整備	整備			自己資金 1,500
	実績	21年度整備済			1,500
	作業場・車庫	整備			自己資金 1,500
	実績	21年度車庫 22年度作業棟 新築			1,600 国補助 11,865
	食堂椅子テーブル	購入			自己資金 1,000
	実績	購入済			950
防火体制整備	スプリンクラー設置工事	補助事業 県と協議	22年度の事業 (設計見直し)		自己資金 11,000 補助金 19,100
	実績		23年度工事済		自己資金 9,440 国補助 19,120
施設整備	居室・トイレ・浴室			居室・浴室補修	自己資金 1,000
	実績		23年度交流ホームトイレ改修、 居住棟渡り廊下設置 24年度屋根塗装 25年度女性浴室改修 25年度女性トイレ改修		3,340  5,460 954  1,365

備品・車両等の更新	テレビ更新		H22～23年度 食堂・娯楽室3台 支援員室2台、 交流ホーム1台		自己資金 1,000
	実績	22年度購入済			390
	作業トラック			更新	自己資金 2,300
	9人乗りワゴン車			更新	自己資金 1,500 補助1,000
	10人乗りワゴン車			更新	自己資金 2,000 補助1,000
	軽乗用車			更新	自己資金 1,300
	実績	寄付で購入済			1,650
	ホロ付きトラック			更新	自己資金 2,300
	普通乗用車			更新	自己資金 1,500 補助1,000
	マイクロバス				
	実績		24年度中古購入		3,469
	農耕トラクター			トラクター(中古)	自己資金 1,500
	エアコン		食堂、事務室	娯楽室、訓練室 居室16室 職員室、支援員室	自己資金 4,000
	実績		23年度居室5台 25年度食堂		445 450
	ノートパソコン			更新6台	自己資金 1,000
	実績	2台購入済			280
	給湯用ボイラー			更新	自己資金 3,500
	厨房設備			ジェットオーブン ガステーブル 消毒保管庫 冷凍冷蔵庫	自己資金 3,500
	実績	食器洗浄機リース			
	大型洗濯機			更新	自己資金 1,500
	大型乾燥機			更新	自己資金800

	備蓄用倉庫			倉庫 1	自己資金 500
	生活介護活動備品			椅子・机	自己資金 1,000
人材育成	サービス管理責任者 6 人	研修 4 人	2 人	サービス管理責任者：毎年 1 人以上 相談支援専門員：長期で 3 人	
	実績	4 人	23 年度 3 人 24 年度 4 人 25 年度 2 人		
	社会福祉士 4 人		4 人	長期で 2 人	
	実績	1 人取得	25 年度 1 人		
	社会福祉士実習指導者			資格のあるもの 1 人配置	
	介護福祉士 2 人		2 人	長期で 5 人	
	実績	1 人取得	25 年度 4 人		
	介護福祉士実習指導者			資格のあるもの 1 人配置	
	災害対策	水・食料の備蓄	水・食料の備蓄 3 日分(利用者・職員合計 80 人、被災者 80 人、合計 160 人分)	水・食料の備蓄 3 日分(利用者・職員合計 80 人、被災者 80 人、合計 160 人分)	水・食料の備蓄 7 日分(利用者・職員合計 80 人分)
実績			水・食料の備蓄 3 日分(利用者 50 人・職員 25 人合計 75 人分)		
地域貢献	ボランティアの受け入れ	年間 180 人	年間 180 人	年間 100 人	
	実績	21 年度 269 人 22 年度 280 人	23 年度 261 人 24 年度 165 人 25 年度 138 人		
環境保全	生ゴミの資源化	100%削減		100%削減継続	
	実績	達成			

### (3) 障害者支援施設 松葉学園

#### 目標概要(施設の現状及び主な計画)

- 1) 利用者の方の人権を尊重し、施設を地域の拠点として、施設の持つ専門分野を地域の福祉サービスに提供し、地域に開かれた学園づくりを目指します。
  - ① 施設内にとどまらず、外部の専門家や関係諸機関との連携をとります。
  - ② 新たな情報を受信、発信し、環境の変化に対応しながら、理念や基本方針を実現していきます。
- 2) 自己決定、自己選択の場をより多く保障し一人ひとりにあった暮らしに視点をおきます。
  - ① 小規模施設、ユニットの特性を生かし快適な生活が提供できるよう、生活技術の研鑽に努めます。
  - ② 地域の人達と共に障害福祉を考え理解し合える場となることを目指します。
  - ③ 豊かな経験の場を多く提供します。
  - ④ 利用者、職員、保護者がボランティア精神を持ち、地域福祉への援助、協力が行えるよう努力します。

#### 具体的計画

##### 1) 安定した事業の展開

- ① 障害者支援施設 松葉学園の安定的な経営  
施設入所支援(定員 30 名)生活介護事業(定員 47 名)短期入所(定員 5 名)の定員安定確保が第一。特に、通所利用者の増に力を入れます。
- ② 就労部門の見直し  
障害者の働く場を具体化していきます。  
就労継続支援(B型)事業所(定員 20 名)については、作業場確保のため平成 26 年作業場を松葉学園内に建築予定。また、就労先一般事業所の開拓をさらにすすめます。
- ③ 障害児に対する支援の充実  
児童発達支援事業ぽのぽの(定員 5 名)放課後等デイサービス(定員 10 名)保育所等訪問支援事業の 3 事業の利用者確保を最優先に安定的経営を目指します。特に、児童発達支援についての、職員の質の向上と療育機能の充実を図ります。
- ④ 短期入所・日中一時支援受け入れ  
短期入所事業(定員 5 人)及び日中一時支援事業を継続して行ないます。
- ⑤ 実習生、ボランティア受け入れ  
利用者の余暇支援や地域への行事参加等、ボランティアの受け入れをしていきます。  
ボランティア受け入れ人数 年間 50 人  
実習指導者の養成を行ないます。(資格のあるものから)
- ⑥ 地球に優しい、地域に役立つ福祉施設

生ゴミの資源化を図り、100%リサイクルを継続します。

上水道使用料を10%削減します。

CO2 排出量削減のため、夜間待機電力の活用等を行ない、電気消費量10%削減します。

平成27年までに、南海トラフ地震対策として利用者、職員合計で80人と被災者50人分、計130人分の水、食料等7日分の備蓄を完了します。

## 2) 人材育成

### ① 利用者中心の支援実践

資格取得や研修を通じての知識の習得だけではなく、利用者の立場に立った考え方やより質の高い支援のあり方を実践できる職員集団作りを行います。

### ② 専門性の高い職員、資質の向上

利用者と共に考える暮らしの実現のため、職員相互の緊張感を保ち、職員自身が自分で考え工夫するという意識を継続していきます。

必要な資格取得の啓発を行います。

平成30年度までに社会福祉士取得者4人

平成30年度までに介護福祉士取得者10人

## 3) 地域福祉の促進

### 中期計画実施状況等

【事業展開】については、平成25年度より障害児に対する事業「ぽのぽの」では児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業・保育所等訪問支援事業の3つを新たに展開しました。就労継続B型支援事業所「いっとき館」においては、西予市民病院内売店をコンビニ化して、利用者が地域で働く場の確保を行いました。グループホーム「夢の家」においては、ケアホーム廃止に伴う一元化に対応しました。障害者支援施設松葉学園では、平成24年就労移行支援事業廃止。また、生活介護通所利用者は増加し安定した経営状況でした。

【人材育成】については、介護福祉士等意欲的に資格を取得する職員が増加し、施設利用者の高齢化に対応する体制が整いつつあります。

【地球に優しい、地域に役立つ福祉施設】については、利用者増により、光熱水費の増加がみられ目標には到達しないが、一層の経営努力をしていきたい。

南海トラフ地震対策として80人分の水、食料を3日分備蓄したが、大災害に備えて、今後一週間分の備蓄を目指します。また、原発事故に対する施設防災計画を策定し、緊急避難先の受け入れ施設と提携を結びました。

経過の進行表

施設目標	数値計画	短期計画 H21～22 年度	中期計画 H23～25 年度	長期計画 H26～30 年度	財源等 (単位：千円)
障害者総合支援法への対応	平成 23 年度 松葉学園新体系へ移行	障害程度区分認定完了			
	実績	障害程度区分認定完了	平成 23 年度松葉学園新体系へ移行完了		
	サービス管理責任者 4 人	2 人	2 人	4 人	
	実績	平成 21 年度生活介護分野 1 人 就労分野 1 人計 2 人 平成 22 年度生活介護分野 1 人 就労分野 1 人相談支援 1 人計 3 人	平成 23 年度生活介護分野 1 人 就労分野 1 人 地域生活分野 1 人 児童分野 1 人 平成 24 年度就労分野 1 人 地域生活分野 1 人 平成 25 年度生活介護分野 3 人 就労分野 1 人 地域生活分野 1 人 児童分野 1 人計 12 人		
	グループホーム・ケアホーム建設（希望の森と合同）	資金確保建設に向けての計画協力	新グループホーム・ケアホーム（定員 10 人、生活住居 2 箇所）事業の開始		自己資金 10,000
	実績		平成 23 年度生活住居 2 か所増、定員 34 人		
備品・車両等の更新	パソコン 4 台		更新	9 台	自己資金 1,200
	実績		デスクトップパソコン 1 台 ノートパソコン 1 台		
	軽自動車		更新	1 台	自己資金 1,000
	実績		夢の家 1 台		自己資金 1,500
	ホロ付きトラック 1 台			更新	自己資金 1,000

	ワゴン車 8 人 1 台			更新	自己資金 3,000
	ワゴン車 10 人 1 台			更新	自己資金 3,000
人材育成	サービス管理 責任者	松葉学園 1 人以上 いっとき館 1 人以上	毎年 1 人以上研 修受講	毎年 1 人以上 研修受講	
	実績	平成 21 年度 生活介護分野 1 人 就労分野 1 人 計 2 人 平成 22 年度 生活介護分野 1 人 就労分野 1 人 相談支援 1 人 計 3 人	平成 23 年度 生活介護分野 1 人 就労分野 1 人 地域生活分野 1 人 平成 24 年度 児童分野 1 人 就労分野 1 人 地域生活分野 1 人 平成 25 年度 生活介護分野 3 人 就労分野 1 人 地域生活分野 1 人 児童分野 1 人 計 12 人		
	社会福祉士 4 人	2 人 実習指導者研修 受講(資格のある者)		4 人	
	実績	0 人	1 人		
	介護福祉士 4 人	2 人	2 人	10 人	
	実績	0 人	3 人		
就労部門見 直し	いっとき館就 労見直し	就労移行支援事 業の継続 定員 6 人 就労継続支援(B 型)事業開始定 員 10 人		平成 26 年度西 予市民病院売店 のコンビニ化	
	実績	平成 21 年就労 継続支援(B 型) 事業開始 定員 10 人 平成 22 年度就 労継続支援(B 型)事業 定員 4 人増	平成 23 年度松 葉学園新体系移 行に伴い、就労 継続支援(B 型) 事業所いっとき 館として、定員 20 人 平成 24 年度就 労移行支援事業 廃止		6,000



	自活訓練棟改装	自活訓練棟を仕事の間として改装		就労継続支援 (B型)事業所 活動室の建設 (松葉学園敷 地内)	自己資金 3,000
	実績	児童養護施設吾 子苑建設予定と なり、改装は中 止とする。			
新事業展開			障害児通所支援 事業所ぼのぼの (児童発達支 援・放課後デイ サービス事業・ 保育所等訪問支 援)	障害児通所支 援事業所ぼの ぼの移転	
	実績		平成 25 年度事 業開始		

### 3 乳幼児施設目標・数値計画

#### (1) うわまち南保育園

##### 目標概要

地域や自然を活用した体験を根底に置き、零歳児からのからだづくり、人と関わる力の基礎づくりの強化を図ります。看護師のいる保育園として、安心安全に努め、保護者の信頼を深め、入園児の増加を目指します。

##### 具体的目標

施設整備 H21年度 ○パソコン購入（1台リース）  
○プリンター購入（リース）  
○乳児室ロッカー更新（2台）  
○二階外通路人工芝更新

中期計画 ○老朽化エアコン更新（2台） ○生ごみ処理機（リース）

人材育成 保護者の抱える様々な悩みを受けとめ、解決に向けて支援を行える職員を育成します。（カウンセラー）

##### 中期計画実施状況

- ・施設整備については、平成23年度に登り棒の下に遊具安全対策マット、幼児用便器を洋式に取替えました。平成24年度には、外階段及び門の照明設置工事、オーディオ機器を購入、職員便所の便器取替工事、平成25年度には、共同募金配分金の交付を受けて保育室のエアコン2台の取替と1台新設を行いました。
- ・平成23年度住宅・建築物耐震化緊急支援事業の補助を受けて耐震化診断を行い、平成25年度に耐震改修工事を事務室と2階廊下の2箇所行いました。
- ・利用者サービスについては、病後児保育事業を平成20年度に立ち上げ、定着しております。制度が変わっていきませんが、今後も保護者の方に安心してもらえる事業として適切に運営してまいります。
- ・人材育成に関して、職員研修は、児童事業部として年間計画を立て全国規模の研修会に参加したり、平成25年度に第三者評価を受審し、保育の振り返りや見直しをすることができました。資格取得に関しては、初級カウンセラー2名、中級カウンセラー1名と目標を大きく上回っております。また、ミュージックケア4名、ベビーマッサージ3名と、保育現場で生かす資格の保持者が増え、保育の質を上げることにつながると感じております。
- ・保護者満足度への取り組みについては、不満やどちらかということ不満はゼロで、目標を達成しましたが、今後も保護者の方の満足度を上げることができるよう努めてまいります。
- ・ボランティア受け入れは、中期年平均372人と目標を大幅に上回ることができました。地

域ボランティアの方のご協力でいろいろな体験を保育の中に取り入れることができ大変ありがたく、今後も引き続き行ってまいりたいと思います。

- ・災害対策に関して、災害避難計画を策定し原子力災害避難訓練にも参加しました。今後事業継続計画の策定へつなげてまいります。備蓄用品も種類や数量を増やしているところですが、目標の数字にはまだ届いていないので、今後も引き続き予算化して増やしてまいります。
- ・環境保全に関して、うわまち東保育園の生ごみ処理機を使わせてもらい、ごみの削減10%につながっています。
- ・長期計画の追加として、子ども子育て新制度が平成27年度から施行されるのを受け、保護者の就労にかかわらず、通いなれた園を継続して利用できる認定こども園を平成30年度に事業開始できるようプロジェクトチームで計画を進めております。

経過の進行表

施設目標	数値計画	短期計画 H21～22年度	中期計画 H23～25年度	長期計画 H26～30年度	財源等 (単位：千円)
安全快適な園舎	園舎改築			目途をつける 認定こども園新設	
	実績	H23耐震性診断受診	耐震改修工事 H25.12工事完了		耐震診断 補助金1,207 自己資金300
			認定こども園プロジェクト委員会発足		耐震改修工事 自己資金 1,606
利用者サービス	病後児事業 (自園型からオープン型への検討)		病後児事業オープン型への移行研究		
	実績	病後児事業(体調不良型)定着	オープン型への移行研究は中止		
	職員研修	保育指針、絵画、リズム、給食、おもちゃ、健康、障害児ケース、保育部会	保育指針、絵画、リズム、給食、おもちゃ、健康、障害児ケース、保育部会 保育専門分野研修	保育指針、絵画、リズム、給食、おもちゃ、健康、障害児ケース、保育部会 日保協・全保協全社協主催研修会参加 8人	
実績	達成	達成 第三者評価受審主任・係長講座 コーチングトレーニ			

			ング講座、子ども子育て新制度説明会、人事管理講座 地域活性化研修会 福祉QC入門講座		
保護者満足度への取り組み	不満、どちらかというとな不満の70%を削減				
	実績	60%	達成		
人材の育成	初級カウンセラー5人		2人	3人	
	実績	3人	2人		
	中級カウンセラー1人			1人	
	実績		中期取得 1人		
	社会福祉施設長資格認定講習 2人		1人	1人	
	実績		0人		
	資格取得 幼稚園教諭 リトミック ミュージック ケア ネイチャーゲーム ベビーマッサージ				15人
実績		初級ミュージック・ケア 4人 ベビーマッサージ 3人			
地域貢献への取り組み	ボランティア受入れ	80人/年	100人/年	120人/年	
	実績	H22 342人/年	372人/年		
災害対策	水・食料3日分備蓄	園児他130人	園児他150人	園児他170人	
	実績	園児他133人、3日分備蓄（米、水）	1日一食として1200人		
環境保全	生ごみ資源化	20%	70%	継続	自己資金
	実績	生ゴミ処理機使用するが、フル稼働できず目標達成せず	生ゴミ処理機（東保育園へ週2回持参）		

燃えるごみ 削減	10%	継続	継続	
実績	0%	40%		

## (2) うわまち東保育園

### 目標概要

- \* 現在は定員確保できているが、地域の状況や園児の兄弟を把握すると少子化傾向が顕著にうかがえます。
- \* 保護者・地域のニーズの把握に努め、さらに利用者サービスの充実を図っていきます。長期的には定員減となるので、一時保育等の事業拡大を検討致します。
- \* 地域の協力を得ながら、地域の環境を生かし、自然体験や実体験を保育の中心に置き心身共に逞しく心豊かな子どもを育成します。また、保護者との信頼関係作りに努め、子育ての良きパートナーとなるようにします。
- \* 保育の質・職員の資質向上を目指して園内外の研修を行ない、自己研鑽に努めます。

### 具体的目標

H21年度      ベランダひさし取り付け  
 中期計画      調理台更新      園児ロッカー更新      生ごみ処理機  
 長期計画      総合遊具更新

### 中期計画実施状況

- ・施設整備については、平成23年度に内門取替、幼児用トイレ床の張り替えとパソコン1台を購入致しました。平成24年度には、生ゴミ処理機とパソコン一台を購入、平成25年度には、厨房のエアコンを更新し、幼児用トイレの1台を洋便器に取替えました。施設及び施設設備については、老朽化により修繕や更新は必要になっておりますので、適切な管理を行いながら、安全・安心な環境づくりを継続していきます。生ゴミ処理機を購入することにより、生ゴミの資源化を図ることができました。さらに、処理後に排出されたものは肥料として畑や花壇に利用し、子どもたちの菜園活用や環境づくりに生かしています。
- ・職員研修については、予定通り実施することができました。平成23年度に保育所事故予防研修会と保育21世紀セミナー、平成24・25年度と続けてリスクマネージャー養成講座、労務管理講座、園内及び各保育園に報告すると共に、園内研修に取り入れ全職員でリスクマネジメントや働く環境の改善に取り組んでいます。また、平成25年度にはトップセミナーを受講し、子ども子育て新制度の理解に努めました。中期では、初級カウンセラー受講者はなく異動により1名減となりました。人と関わる職場においてカウンセリング技法は必要な資格であることを啓蒙し、取得者増を目指します。
- ・地域貢献のボランティアは中期年平均148名のご参加を頂きました。福祉体験ボランティアの参加者が減少しておりますが、行事等にご参加いただくよう声かけをしながら保育園に関心を寄せていただくと共に、広く地域の方との交流を図りたいと思います。

- ・災害対策では、備蓄量を3日分とし、内容については水・米以外にすぐに食べる事ができるビスコと日用品のおむつ・ウエットティッシュ等を加えました。今後も、備蓄量や内容についてさらに検討し、非常時対応に備えてまいります。
- ・長期計画の追加については、子ども子育て支援制度が施行される事をうけ、平成29年度には幼稚園機能と保育園機能を併せもった認定こども園を新設し事業を開始する計画となっております。保護者の就労に関わらず利用することができる為、子どもが卒園するまで変わらない環境で保育をうけることができ、保護者も就労の変更による子育て不安をもつことがなくなります。法人の理念である【こどもには 大きな夢を】のもと、認定こども園新設に向けて保育理念を掲げながら地域から親しまれ、子育て支援の拠点となるように、地域や利用者ニーズの把握に努め計画を推進してまいります。

\* 初級カウンセラーを平成30年までに東保育園での取得者を5名養成します。

\* 園長・補佐(現副施設長)候補者の中から福祉施設長専門研修会1名を受講します。

#### 経過の進行表

施設目標	数値計画	短期計画 H21～22年度	中期計画 H23～25年度	長期計画 H26～30年度	財源等 (単位：千円)
園庭の設備				総合遊具の更新	民間補助 1,500 自己資金 500
利用者サービス	サービス拡充			一時保育 一時保育 認定こども園設立	民間補助 自己資金
	実績		平成25年度 認定こども園プロジェクト委員会発足		民間補助 自己資金
	職員研修の充実	保育指針研修 QC研修 運動・体力研修 カウンセリング 絵画・リズム 給食・おもちゃ 健康・障害児 保育研修	保育指針研修 QC研修 運動・体力研修 カウンセリング 絵画・リズム 給食・おもちゃ 健康・障害児 保育研修	保育指針研修 QC研修 運動・体力研修 カウンセリング 保育専門分野研修 日保協・全保協全社協主催研修会参加 5人	
	実績	達成	達成 第三者評価受審 保育21世紀セミナー 初級リスクマネージャー講座 トップセミナー		
	初級カウンセラー5人	1人	1人	3人	

人材育成	実績	1人	0人		
	福祉施設長 研修受講 1人				
	実績				
	資格取得 幼稚園教諭 リトミック ミュージック ケア ネイチャーゲ ーム ベビーマッサ ージ			15人	
	実績		ミュージックケア1人 ベビーマッサージ3人 ネイチャーゲーム1人		
地域貢献	ボランティア 年間 90人	80人/年	90人/年	90人/年	
	実績	90人/年	148人/年		
環境保全	生ゴミ資源 化	30%	70%	70%	
	実績	0%	80%		
災害対応	3日分の水・ 食料:利用者 職員被災者	130人分	130人分	130人分	
	実績	86人分	1日一食として 400人分		

### (3) 中川保育園

#### 目標概要

- ・地域の中の保育園として、子どもたちや老人（宅老所）との交流が出来るよう地域の中に根ざしていきます。
- ・子どもたちとの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進し、子どもたちにふさわしい生活の場になるようにします。
- ・保護者との緊密な連携の下、保護者の支援及び地域の子育てに関する支援を行います。

#### 具体的目標

- ① 施設整備 H21年 下駄箱更新  
中期計画 エアコン整備 総合遊具の更新 ベランダ塗装
- ② 災害対策 利用者職員被災者3日分の水、食料の備蓄
- ③ 人材育成 初級カウンセラー 施設長専門研修会受講

④ 地域貢献 ボランティア年間参加者受入

⑤ 地球にやさしい 生ゴミ資源化

中期計画実施状況

- ・施設設備に関しては、中期に予定していた老朽化が進んでいた総合遊具を、平成23年度に自己資金で更新し、安心して子どもたちが遊べるようになりました。
- ・災害対策としては現在のところ、3日分60名の備蓄（米・水・ビスコ）なので、長期において目標達成できるように努めてまいります。また、さまざまな災害時に迅速に対応するため、マニュアルの見直し等を含め備蓄計画を進めてまいります。
- ・利用者サービスについては、平成23年度より開始されていた学童保育が、平成25年度より中川保育園を拠点として運営することになりました。ななほし中川デイサービスの一室をお借りしている為、お年寄りとの交流もあり、温かな環境の中で児童の健全育成・保護者支援を行うことができ、ほぼ100%の利用率で順調に運営しております。今後も保護者の方に信頼して利用して頂けるよう、子育て支援に努めます。
- ・人材育成については、初級カウンセラーを2名が取得し、現在の職員数のおよそ3割の職員が初級カウンセラーの資格を持つことができました。また、毎年ミュージックケア、ベビーマッサージ、ネイチャーゲームの資格取得者も増えております。平成24年度には第三者評価を受審することで、保育の振り返りができたりサービス提供の在り方について学ぶことが出来ました。今後もよりよい保護者支援ができるよう、そして保育の質の向上を目指して努力してまいります。
- ・地域ボランティアの受け入れは、平成25年度115名と計画を大きく上回ることができました。夏休みに町内の福祉事業所で実施している、小中高生を対象にした福祉ふれあい体験ボランティアの関心が高く、小学生に大勢参加して頂き保育園のことを知ってもらったり、園児とのふれあい等とても良い機会となりました。また、地域内外からの畑や絵本の読み聞かせのボランティアも長年続けて頂いており、ありがたく思います。今後も、地域とのつながりを大切にしていまいります。
- ・生ごみ資源化は、目標達成ができませんでした。生ゴミ処理機の有効な使い方や、地球にやさしい生活の在り方を職員全員で工夫しながら努めてまいります。

経過の進行表

施設目標	数値計画	短期計画 H21～22年度	中期計画 H23～25年度	長期計画 H26～30年度	財源等 (単位：千円)
施設の改修	総合遊具		総合遊具更新		自己500 民間補助 1,100
	実績		H23完了		自己資金
	ベランダ塗装		ベランダ塗装		自己資金
	実績	ベランダ・遊具下安全対策工事実施	短期実施		
利用者サービス	職員研修の充実	保育指針研修 QC研修 運動・体力研修 カウンセリング 絵画・リズム 給食・	保育指針研修 QC研修 運動・体力研修 カウンセリング 絵画・リズム 給食・お	保育指針研修 QC研修 運動・体力研修 カウンセリング 保育専門分野研修	



		おもちゃ 健康・障害児 保育研修	もちや 健康・障害児 保育研修	日保協・全社協全社協主催研修参加 2人	
	実績	達成	達成 第三者評価受審		
災害対策	3日分の水食料備蓄：利用者職員被災者合計	70人	75人	80人	
	実績	園児職員1日分備蓄 (米・水・ビスコ)	1日一食として 180人分		
人材育成	初級カウンセラー 2人		1人	1人	
	実績	短期取得 2人	2人		
	福祉施設長専門研修会受講1人		1人		
	実績		0人		
	資格取得 幼稚園教諭 リトミック ミュージック ケア ネイチャーゲーム ベビーマッサージ				5人
	実績		ミュージックケア1人 ネイチャーゲーム1人 ベビーマッサージ2人		
地域貢献	ボランティア：受入人数年間	30人	35人	40人	
	実績	59人／年	115人／年		
環境保全	生ゴミ資源化	10%	20%	30%	
	実績	10%	10%		

#### (4) 田之筋保育園

##### 目標概要

- ・長期計画として、保育園で子どもとお年寄りと一緒に生活できるようにし、地域の中に根ざした保育をしていきます。
- ・地域、専門機関、保護者との連携を蜜にし、子育て支援を推進していきます。
- ・研修で学んだ知識、技術や判断力が実践に生かされるようにし、職員一人ひとりの資質の

向上を図ります。

### 具体的目標

- ① 施設整備 ・フェンス更新 ・ロッカー更新 ・エアコン新設 ・倉庫の更新  
・カーテンの更新
- ② 災害対策 ・利用者職員被災者への水、食糧3日分の備蓄
- ③ 人材育成 ・教育カウンセラー(初級) ・施設長専門研修会受講
- ④ 地域貢献 ・ボランティア年間受入
- ⑤ 地球にやさしい ・生ゴミ資源化

### 中期計画実施状況

- ・施設整備につきましては、外回りのフェンス、乳児室のエアコン新設工事を計画通り行うことができ、安心・安全・快適な生活を送ることができております。全室のカーテンの老朽化が顕著に見られるため、子どもたちの快適な生活を考え、長期計画から前倒して取替えを行いました。また、計画にありませんでしたが、厨房内の調理器具（オーブンレンジ・エアコン・食器消毒器）が故障し新しく購入致しました。
- ・地震避難計画について、備蓄計画は達成しておりますが、地元の企業組合「喜ちゃんない屋」との提携により災害時の食料確保ができるようになり強固な計画ができました。
- ・初級カウンセラーを1名取得することができました。新たに初級ベビーマッサージを1名が資格取得することができ、今後も人材育成に力を注いでいきたいと考えております。
- ・入所児童が減少し、平成23年度に保育園定数を45名から40名に減員することになりました。過疎化が進む地域として今後も厳しい状況ではありますが、地域、関係機関と連携を取りながら、定員を維持していけるよう努力してまいります。平成23年度、補助事業で園庭を全面芝生化しました。乳児から年長まで皆が芝生の上を走り回っております。虫など自然と触れ合う機会も増え、芝の緑がもたらす癒しの効果、温暖化防止といった、身体的・教育的・精神的・環境的側面で効果が期待されており、管理が大変ではありますが、特色ある保育園として今後も芝生を維持していきたいと考えております。平成26年度には、保護者会の積極的な支援として父親の保護者有志による「芝かれ隊」が発足し、芝生の管理をはじめ、園庭、園舎の修繕を引き受けてもらうなど、職員、保護者が一体となった運営ができております。今後は、少しではありますが、増えてきている在宅の子どもさんへの相談支援を強化し、より信頼される保育園を目指してまいります。

### 経過の進行表

施設目標	数値計画	短期計画 H21～22年度	中期計画 H23～25年度	長期計画 H26～30年度	財源等 (単位：千円)
施設の改修	フェンス更新				
	実績	H21フェンス更新済			
	ロッカー更新				
	エアコン新設				
	実績	H21保育室エアコン更新	H25厨房エアコン更新		
	倉庫の更新				

	カーテンの更新			カーテンの更新	自己50 補助金70
	実績		H23全室更新	中期実施	自己90
利用者サービス	職員研修の充実	保育指針研修 QC研修 運動・体力研修 カウンセリング 絵画・リズム 給食・おもちゃ 健康・障害児 保育研修	保育指針研修 QC研修 運動・体力研修 カウンセリング 絵画・リズム 給食・おもちゃ 健康・障害児 保育研修	保育指針研修 QC研修 運動・体力研修 カウンセリング 保育専門分野研修 第三者評価受審 日保協・全社協全社協主催研修参加 3人	
	実績	達成	達成 福祉QC入門講座 労務管理講座 新制度保育セミナー 全国主任・係長講座 全国主任初任者研修		
災害対策	3日分の水食料利用者職員被災者合計	70人	75人	80人	
	実績	70人分の米・水確保	1日一食として75人分		
人材育成	初級カウンセラー 3人		2人	1人	
	実績	短期取得 1人	1人		
	福祉施設長専門研修受講1人		1人		
	実績	H22 1人	短期実施		
	資格取得 幼稚園教諭 リトミック ミュージック ケア ネイチャーゲーム ベビーマッサージ				2人
実績		ベビーマッサージ 1人			
地域貢献	ボランティア	65人	68人	70人	
	実績	125人/年	120人/年		
環境保全	生ゴミ資源化	10%	20%	30%	
	実績	0%	10%削減		

## (5) 下宇和保育園

### 目標概要

- ・中長期を考え、今後入所児童が減少する傾向が考えられる為、空き部屋を利用しての放課後児童の受入制度としての学童保育の取り組みや地域における未就園児親子の育児相談・指導に当たるなど、総合的な子育て支援施設を目指します。
- ・養護の充分行き届いた環境の下で、自然体験を通して体力作りやお遍路さんが通る保育園としてお接待に努め、自ら周囲の子どもや地域の人と関わる力を育てていきます。

### 具体的目標

#### 施設整備

- 中期計画 ・H22年度の学童保育開設に当たり、部屋を整備します。
- ・固定遊具が古くなり危険なので更新します。

#### 人材育成

- 長期計画 ・初級カウンセラーの資格を3名取得させます。
- ・福祉施設長専門研修を1名受講します。
- ・保育内容については養護や教育の両面にわたり子どもの発達を促していけるよう、施設長をはじめ各職員が保育所内外の研修を通して、必要な知識及び技術の習得・向上に努めます。また、職員の人材育成を行うことで、資質の向上を図ります。

### 中期計画実施状況

- ・空き保育室を利用した学童保育を平成22年4月より開始し、今年で5年目になり田之筋小や明間小からも大勢の利用があり、順調に運営しております。今後も保育園を卒園した後の児童の子育て支援に努めてまいります。
- ・施設整備については、平成23年4月と平成24年4月にパソコンを購入、同年8月に卓上型アンブ放送設備一式を購入しました。また、平成25年7月に厨房のエアコンの更新と屋外掲示板を取り付けました。
- ・職員の人材育成については、初級カウンセラーを平成25年に2名、ミュージックケアとベビーマッサージをそれぞれ1名が取得しました。園児や保護者の方に対してよりよい支援ができるよう、今後も取得者を増やしてまいります。
- ・災害に対しては、米・水・ビスコを用意していますが、乾パンや火を使わなくても食べられる食品など、防災グッズの準備を行ない、災害に備えてまいります。
- ・地球にやさしい環境作りでは、コンポストを活用して保育園の畑で再利用しており、生ゴミの廃棄率が少なくなっております。今後もゴミの分別をさらに行ない資源化に努めてまいります。

経過の進行表

施設目標	数値計画	短期計画 H21～22年度	中期計画 H23～25年度	長期計画 H26～30年度	財源等 (単位：千円)
施設整備 学童保育 の部屋の 整備	H22年度までに必要な備品を準備する				市補助金
	実績	備品購入	備品購入		
	固定遊具購入				共同募金 自己資金
	実績	固定遊具更新			
利用者サービス	職員研修の充実	保育指針研修 QC研修 運動・体力研修 カウンセリング 絵画・リズム 給食・おもちゃ 健康・障害児 保育研修	保育指針研修 QC研修 運動・体力研修 カウンセリング 絵画・リズム 給食・おもちゃ 健康・障害児 保育研修	保育指針研修 QC研修 運動・体力研修 カウンセリング 保育専門分野研修 第三者評価受審 日保協・全社協全社協 主催研修参加 3人	
	実績	達成	達成 幼児期の教育研修会 保育所主任保育士研修会 保育21世紀セミナー		
人材育成	初級カウンセラー 2人		1人	1人	
	実績		2人		
	福祉施設長専門講習受講 1人			1人	
	資格取得 幼稚園教諭 リトミック ミュージック ケア ネイチャーゲーム ベビーマッサージ			5人	
実績		ベビーマッサージ 2人 ネイチャーゲーム 1人			
災害対応	3日分の水食料：利用者職員被災者合計	60人	80人	80人	
	実績	60人	1日一食として 200人分		
地域貢献	ボランティア年間受入	50人	55人	55人／年	
	実績	106人／年	163人／年		

環境保全	生ゴミ資源化	30%	40%	50%	
	実績	60%	50%		

## (6) 明間保育園

### 目標概要

- ・改築から35年、老朽化に伴いこまめに点検し、修繕等を施し安全管理に努めます。
- ・社会環境の変化、人間関係の複雑化の中で子供たちの生きにくさは大きいと思われま。人としての基礎を育む大切な時期の子ども達と関わる職員は、様々な研修を重ね資質の向上を図る必要があります。さらに、地域・保護者・子育ての支援にも努めていきます。
- ・高齢者人口52.2%の集落で小学校の合併も予想されます。益々過疎の寂しい地域となることが予想されます。保護者の希望でもある園の存続ができるよう保護者や地域の人たちとの連携をもって、元気な地域、保育園づくりを行います。

### 具体的目標

- 施設整備 ・総合遊具の更新 ・防水塗装 ・耐震強度検査 ・洋式便器取替  
 ・テント張替
- 災害対策 ・利用者、職員被災者
- 人材育成 ・教育カウンセラー（初級） ・施設長専門研修会受講
- 地域貢献 ・ボランティア年間受入
- 地域にやさしい ・生ゴミ・燃えるゴミ資源化

### 中期計画実施状況

- ・『施設整備』について、遊具安全対策マット設備や園舎裏の道路に面する場所のフェンスの取り付けを行い、子どもたちが安全に遊べる環境になりました。今後は施設内の状況を見ながら、耐震強度検査・門扉の整備など計画を進めてまいります。
- ・『利用者サービス』においては、平成23年7月お泊り保育事故について、二度とこのような事故をおこさないようリスク管理責任者を中心に、危険予防及び安全対策の重要性について職員が認識を深めていけるよう研修の充実を図ってまいります。また、事業部ごとに実施しております「安全の日を考える」施設点検を通して、安全な保育園作りをめざし信頼回復に努めてまいります。
- ・『人材育成』については2名が初級カウンセラーを取得しました。今後も、保護者との連携や相談等に生かしていけるように、資格取得に努めてまいります。
- ・『地域貢献』では、ボランティア受け入れは、地域内外から年平均140名と目標を大きく上回りました。さらに地域の方との関わりを大切にして豊かな心を育む保育に心がけていきたいと思ひます。
- ・『災害対策』においては、米や保存食・水等3日分の備蓄量です。今後、原子力災害防災計

画に沿って備蓄量や対策について見直し、災害に備えていきます。

- ・『環境保全』においては、コンポストの利用方法、ごみ分別の徹底、光熱費等の使用分析をして資源の削減に努めていきます。
- ・定員20名の小規模な保育園です。地域性を生かした特色ある保育の実践に努めてまいります。

### 経過の進行表

施設目標	数値計画	短期計画 H21～22年度	中期計画 H23～25年度	長期計画 H26～30年度	財源等 (単位：千円)
施設整備	総合遊具一基	総合遊具の更新			自己資金
	実績	遊具設置完了			民間補助
	砂場日除けテント		テントの張替え		
	実績	H22年度張替	短期実施		
	防水塗装(漏水時)				
耐震強度検査					
利用者サービス	職員研修会の充実	保育指針研修 QC研修 運動・体力研修 カウンセリング 絵画・リズム 給食・おもちゃ 健康・障害児 保育研修	保育指針研修 QC研修 運動・体力研修 カウンセリング 絵画・リズム 給食・おもちゃ 健康・障害児 保育研修	保育指針研修 研修 運動・体力研修 カウンセリング 保育専門分野研修 第三者評価受審 日保協・全社協全社協主催研修参加 3人	
	実績	達成	達成 保育所主任保育士研修会 保幼小連携研修会		
災害対策	3日分の水・食料	30人分	30人分	30人分	
	実績	30人分	1日一食として 120人分		
人材育成	初級カウンセラー 3人	1人	2人	2人	
	実績	1人	2人		
	福祉施設長専門講習受講 1人		1人		
	実績		0人		
	資格取得 幼稚園教諭 リトミック ミュージック ケア			5人	

	ネイチャーゲーム ベビーマッサージ				
	実績		ミュージックケア 1人 ベビーマッサージ 1人		
地域貢献	ボランティア年間受入	35人	50人	80人/年	
	実績	137人/年	140人/年		
環境保全	生ゴミ資源化	50%	50%	80%	
	実績	0%	20%		

### (7) 宇和保育園

#### 目標概要

保育園（子育て支援センター）が、子どもや保護者、地域にとって安心して、子育てや就労ができる、居心地のよい楽しい場となるように私達は、大切な子どもの人権を尊び、安全で安定した生活ができる環境を用意し、人や自然とふれあう実体験を通して、健やかな育ちを支えていくよう、自己研鑽に努め専門性を高めていきます。

#### 具体的目標

H21年度 ○パソコン購入（1台リース）

中期計画 ○老朽化エアコン更新（1台）○物置更新（一棟）○生ゴミ処理機

長期計画 ○物置更新（1棟）

#### 中期計画実施状況

- ・平成23年度に乳児室のエアコンが老朽化の為使用できなくなり、更新して快適に過ごせるようになりました。長期には、厨房・年少組のエアコンも老朽化しつつありますので計画的に更新してまいります。
- ・平成24年度に総合遊具が老朽化し危険な面もありましたので、自己資金にて購入し、子どもたちも安全・快適に楽しく遊ぶことができるようになりました。
- ・災害対策については、3日分の備蓄分量（250人分）としては不足していましたので、ビスコを追加購入しました。長期において乾パンなどの購入をして備蓄分量を増やしたり、水の賞味期限も切れますので再購入していき、地域住民の方にも少しでも対応できるようにしてまいります。
- ・人材育成においては、初級カウンセラーを2名が取得しました。また、保育の質の向上の為、多くの職員がミュージックケア・ベビーマッサージ・ネイチャーゲーム等の資格取得をし、保育の現場で生かしております。
- ・中期計画では地域貢献において、子育て支援センターでの専属ボランティアを含み、引き続き180人増の受け入れができるようにし、地域の方が気軽に園に来ていただき、子どもたちと交流していただいたり、保護者・OBの方たちが行事や園庭の整備などに協力していただけるような体制づくりに努めてまいります。



経過の進行表

施設目標	数値計画	短期計画 H21～22年度	中期計画 H23～25年度	長期計画 H26～30年度	財源等 (単位：千円)
設備の更新	総合遊具				共同募金・自己資金 1,800
	実績		総合遊具更新		
利用者サービス	障害児デイサービス事業		障害児デイサービス事業の研究		
	病後児（オープン型）事業		病後児（オープン型）事業の研究	夜間保育事業	
	実績		H24研究取りやめ		
	夜間延長保育事業			実施予定	
	実績		事業開始の検討準備 ユニットバス 警備システム設置		自己資金 107万
	職員研修の充実	保育指針研修 QC研修 運動・体力研修 カウンセリング 絵画・リズム 給食・おもちゃ 健康・障害児 保育研修	保育指針研修 QC研修 運動・体力研修 カウンセリング 絵画・リズム 給食・おもちゃ 健康・障害児 保育研修	保育指針研修 QC研修 運動・体力研修 カウンセリング 絵画・リズム 給食・おもちゃ 健康・障害児 保育研修	保育指針研修 QC研修 運動・体力研修 カウンセリング 保育専門分野研修 日保協・全社協全社協 主催研修参加 5人
実績	達成	達成 第三者評価受審 保育所事故予防研修会 子ども子育て3法案の制度学習会			
保護者・職員の支援	親・職員の相談、支援 苦情の対応等の充実			カウンセラー配置	
災害対応	3日分の水食料利用者職員被災者	園児・保護者・職員（250人）地域住民 20食	園児・保護者・職員（250人）地域住民 20食	追加購入	
	実績	園児職員170人	1日一食として 200人分		
人材育成	初級カウンセラー 合計6人		3人	3人	
	実績	1人	2人		

	福祉施設長 専門研修 2人		1人	1人	
	実績		0人		
	資格取得 幼稚園教諭 リトミック ミュージック ケア ネイチャーゲ ーム ベビーマッサ ージ			20人	
	実績		ミュージックケア2人 ベビーマッサージ6人 ネイチャーゲーム2人		
地域貢献	ボランティア 年間	150人	子育て支援センター での専属ボランティ ア含み 180人	子育て支援センター での専属ボランティ ア含み 200人	
	実績	145人	達成		
環境保全	生ゴミ資源 化	20%	70%	70%	
	実績	20%	50%		

## 4 高齢者施設目標・数値計画

### (1) 宇和町特別養護老人ホーム松葉寮

#### 目標概要

私たち松葉寮は、介護を必要とする方々の生活支援をすることにより成り立っています。その使命はご利用の方々に生きがい（人間としての幸せ）を提供し、憂いなく一日をお過ごしいただくためのお手伝いをすることです。そのため、私達は仕事に対して『安全・確実・信頼』の視点を求めながら「自分が利用したい、自分の一番大切な人に利用させたい」施設運営を行います。

① 旧施設から新設移転し14年が経過しました。経年劣化やメーカーの統廃合により部品調達ができず修繕のできない設備機器も目立ち始めるなど、今後ハード面の管理維持費用の増大が見込まれます。

そこで新たに総額約1億5,000万円の機材購入及び修繕計画を盛り込みます。

② 介護職員不足が大きな問題となっています。このまま欠員の状態で推移すれば「利用者・職員・経営」それぞれの満足が確保できない状況に陥る恐れのある憂慮すべき問題です。そのため、子育て支援と同様、職員支援策を充実してまいります。

#### 中期計画実施状況

【設備の改修】状況について、4か所の整備を目指していたものの実施できませんでした。

【設備の更新】エアコンの更新については、当初一般的な耐用年数（10年）を元に計画しましたが、買い替えを要する故障は発生していないことから設備更新は見送りました。

また、車両に関しても2台購入する予定のところ保有する車両に不備がないことから購入しておりません。

【利用者サービス向上】介護福祉士資格取得人数について15名を目標としていたところ、合計18名の職員が合格実績を残しました。

【職員満足の向上】施設内託児所・学童保育施設開設について法人内で職員アンケートを基に検討した結果、法人内保育園で延長保育を実施することにより対応可能と判断し、25年4月から実施しております（一般希望者にも開放）。

【経営満足の向上】この分野では省エネルギーの取組としてソーラー発電研究を中長期的に研究する計画を立てていましたが、売電価格変更の情報入手を機に設置するに至りました。一か月平均20万円売電しています。

また、ベッド稼働率については目標の97%（利用延べ人数26,553人）に及んでいません（H27年1月現在、94.7%）。体調不良による入院者の増加が主な原因で、年間600万円強の減収となっていることから、平成27年度の介護報酬減額改定を踏まえ対策の見直しが迫られています。現在のところ、口腔ケアやリハビリ支援の維持強化に加え、具体的な対策として、積極的な看取り介護の実施、確実な加算取得体制の確保に努めたいと考えています。

計画の進行表

施設目標	数値計画	短期計画 H21～22 年度	中期計画 H23～25 年度	長期計画 H26～30 年度	財源等 (単位：千円)
施設の改修	ショートステイのリビング	整備			自己資金 13,000
	実績	完了			
	ひなた・さくら コスモスリビング・厨房整備		整備	整備	自己資金 30,000
	実績		長期計画へ。		
	浴室の改修			個室浴設置	自己資金 5,000
設備の更新 (リース対応 について検討)	老朽化エアコン更新		50 台 (20,000)	50 台 (20,000)	自己資金 30,000 民間補助 10,000
	実績		故障等なく更新の必要がなくなりました。 長期計画へ。		
	特殊浴槽整備			2 台 (9,000)	自己資金 6,000 民間補助 3,000
	車両整備		2 台 (3,000)	4 台 (6,000)	自己資金 4,500 民間補助 4,500
	実績		現保有車両台数で運営ができていました。 長期計画へ。		
	ボイラ整備			2 台 (30,000)	自己資金 15,000 民間補助 15,000

	業務用洗濯乾燥機の整備			4台 (5,000)	自己資本 5,000
				3台 (4,000)	
	実績		1台購入		
	ナースコールシステム整備			15,000	15,000
新規事業への取組	高齢者住宅事業への参入			定員10人程度 (100,000)	
				施設としての 計画中止	
財源	自己資金	21,000	51,500	289,000	361,500
	補助金		6,500	46,000	52,500
	借入			30,000	30,000

②「安全・確実・信頼」を求めて

施設目標	数値計画	短期計画 H21～22年度	中期計画 H23～25年度	長期計画 H26～30年度	財源等 (単位：千円)
利用者サービス向上	介護福祉士 36人	6人	15人	15人	
	実績	8人	17人		
	管理栄養士 1人		1人		
	実績	0人	0人		
	社会福祉士 2人		2人		
	実績	0人	0人		
職員研修会の充実 施設環境の向上	全職員の接遇 研修 ユニットリーダー研修 先進施設研修・QCリーダー研修		初任者・中堅・リーダー研修・先進施設研修・パート研修	初任者・中堅・リーダー研修・先進施設研修・パート研修	
	実績	達成	介護力向上講習が主体となりました。		
職員満足度の向上	子育てと仕事の両立	施設内託児所・学童保育施設研究	施設内託児所・学童保育施設開設		

	実績	H22 子育て支援プロジェクト発足・始動			
経営満足の向上	給食業務の外部委託		外部委託開始		
	実績	H22.4～民間委託開始			
	省エネルギーの取組	空調・電気スイッチを各部屋及びグループ化設置検討	ソーラー発電研究	ソーラー発電研究	
				実施済み	
	実績	H25 年度実施	H24 年度取り付け完了		
	保守業務の見直し	空調保守	消防設備		
	実績	中期計画へ	毎年見直しを実施しています。今後も継続致します。		
	設備のリースへの移行	毛布	ベッド・オムツ・ナースコール	送迎車両・電話機 毛布	
	実績	現在の物が使用出来る為長期計画へ延期	同左		
	ベッド稼働率	93%	96%	97%	
実績	95%	96%			
震災対策	災害時の備蓄品（3日分）	利用者・職員 100名3日分 地域住民50名	利用者・職員 100名3日分 地域住民50名	利用者・職員 100名1日分 地域住民50名	
	実績	利用者・職員 100人1日分 （厨房委託業者） 地域住民50人 3日分（松葉寮）	利用者・職員 100人1日分 （厨房委託業者） 地域住民50人 3日分（松葉寮）		
	自家発電装置		未整備		自己資金

	の整備				1,000
	実績		長期計画へ		
地域と共に	年間 365 人のボランティア受入	受入システム作り	選任ボランティア職員配置	ボランティアセンター	
	実績	ボランティア委員会による受入、マニュアル・活動記録を整備しました。	ボランティア担当職員を配置しました。		
	在宅介護支援事業 1		介護教室・介護相談事業開始	介護教室・介護相談事業	
	実績		事業検討しています。	介護教室展開人の輪委員会	

## (2) ケアハウスれんげ

### 施設概要

誰もが利用したくなるような施設・事業所づくりを施設理念とし、施設理念に基づき、常に相手の立場に立ったサービスを提供するため、ご利用者お一人お一人を大切に、ケアハウスれんげ職員としての自覚を持ち、向上心を高めて技能・知識の習得に努めます。また地域に根差した施設作りを目標とし、事業所の利用率・利用者数の向上に努め、当期資金収支差額の黒字化を目指します。平成 23 年 7 月より特定施設入居者生活介護事業を導入し、利用されている皆さん同士が、隣人として心通わせる生活をお送り頂くよう援助しながら、中・重度介護の必要が生じても、施設として対応できるシステムとなっています。

### 施設設備

長期計画：H26～30 年度

居室エアコンの整備

照明器具の LED への移行

洗濯物干し場の整備（中庭）

福祉車両補助申請（軽自動車）

### 顧客満足

長期計画：H26～30 年度

稼働率 95%を目標に生活支援を行います

### 人材育成

長期計画

施設の介護福祉士を 1 人養成します。

ユニットリーダー研修修了者 1 人を養成します。

### 中期計画実施状況

中期計画の中で補助申請をしていたワゴン車は採用されなかった為、リースにて車両を入れ替え致しました。開設して 14 年目を迎え、電化製品の修理や建物のメンテナンスを必要とすることが多くなってきました。内容によっては保守契約なども選択肢に入れて利用者様にご不便をおかけしないよう努力してまいります。

平成 23 年度より事業開始した特定施設入居者生活介護事業も軌道に乗り、現在 30 人中 21 名の方に利用していただいております。今後も安心して生活していただけるよう生活支援にも力を入れていきたいと思っております。



経過の進行表

施設目標	数値計画	短期計画 H21～22 年度	中期計画 H23～25 年度	長期計画 H26～30 年度	財源等 (単位：千円)
施設改修	緊急避難用扉 の設置	洗濯物干し場			自己資金 1.000
	実績	設置終了			自己資金 263
	居室 4 部屋ユ ニットバスの 完備		115号～118号		自己資金 4.000
	実績		計画中止		
	娯楽室のバリ アフリー化				自己資金 3.000
	実績		段差解消		自己資金 1.370
	中庭洗濯物干 し場の設置				中庭廊下側設 置 自己資金 1.000
車両・設備更新	ワゴン車両整 備	1台			自己資金 1.000 民間補助 2.000
	実績		リース契約		
	ボイラ整備			1台	自己資金 2.500 民間補助 3.000
	実績				
	エアコン更新	リース対応	15台 (3.000)	15台 (3.000)	自己資金 3.000 民間補助 3.000
	実績		リース計画 中止 購入1台		自己資金 157
	火災報知機セ ンサー更新	10箇所	35箇所	41箇所	自己資金 1.350
実績	2箇所	2箇所		自己資金 114	

### (3) 福祉の里

#### 1) 福祉の里デイサービスセンター

##### 目標概要

地域の中の施設として皆様から選んでいただけるように、平成 24 年度より作業療法士を配置し、個別機能訓練のサービスを開始しました。また定休日（日曜日）を設け、提供日（月～土）のサービス提供の充実を図りました。平成 25 年度からは営業終了時間を約 1 時間延ばし、9 時 30 分から 16 時 40 分の営業時間としました。

また、重度のご利用者様にも安心してご利用していただけるように個別の機能訓練のサービスも利用できるなど、特色を出して、ご利用して頂けるようなデイサービスを目指します。

福祉避難所としての機能の充実も今度検討していく必要があります。

##### 送迎車両の購入及び更新

長期計画：H26～30 年度

ワゴン車を購入

##### 設備の購入及び更新

長期計画：H26～30 年度

ホール内エアコンの交換

##### 人材育成

長期計画：H26～30 年度

介護福祉士 9 名 （現在資格者 9 名 内 1 名は育児休業中）

##### 中期計画実施状況

開設時より使用していた特殊浴槽を更新しました。当初の中長期計画にはなかったが、ホール内のエアコン機器が開設時より更新されておらず、不具合が出てご利用者に迷惑をおかけする状況となりました。数台ずつの更新を計画し平成 24 年に 3 台、25 年に 1 台新しいものに変更しました。環境にもやさしい設備更新となりました。

人材育成においては、中期計画にて達成しておりますが、今後も異動等があり、継続して行っています。

経過の進行表

施設目標	数値計画	短期計画 H21～22 年度	中期計画 H23～25 年度	長期計画 H26～30 年度	財源等 (単位：千円)
設備、備品、車両等の購入及び更新	特殊浴槽		特殊浴槽更新		
	実績		更新		
	送迎車両			ワゴン車購入 ワゴン車整備	リース
	ボイラー	ボイラー			
	実績	更新			
	エアコン			3 台	
	実績		4 台		
サービス内容に関する事	アンケート調査の不満割合の削減		不満やや不満を 70%削減		
	実績		80%削減		
人材育成	介護福祉士 9 名	3 名	3 名	3 名	
	実績	3 名	5 名		
災害対策	水、食糧等 3 日分の備蓄		被災者 50 人分	被災者 50 人分	
	実績		長期計画へ		
地域貢献	ボランティア受け入れ		年間 40 名	年間 40 名	
	実績	50 人	平均 170 名		
地球に優しい	生ごみの資源化		100%	26 年度より食事を業者に委託	
	実績		50%		

## 2) 多田あんしんの家

### 目標概要

「あんしん」「あんぜん」「あんらく」住み慣れた地域で、なじみの仲間と過ごし、なじみのスタッフが介護にあたることから、あんしんで落ち着いた時間を過ごせる場所を提供することを目的に、地域介護、地域福祉の拠点として地域の方の交流の場としての機能充実に図ります。

- ① 人材育成については、介護福祉士2名の養成を目指します。
- ② 南海トラフ地震対策として、利用者及び職員の水、食糧の備蓄3日分を30年度までに完備します。
- ③ 生活リハビリの強化と、家族との情報及び交流を深めます。
- ④ 福祉の里グループ及びあんしんの家との連携をとりながら、ボランティアの受け入れ（年間30名）を積極的に取り組み、介護予防に力を入れます。

### 中期計画実施状況

施設の改修として浴室内の、すのこの取替えが中期では行うことが出来ませんでした。長期計画開始の平成26年度には行います。設備においても、あんま機の設置は中期計画においても設置することが出来ませんでした。ホットパックは平成25年2月に完備することが出来ました。

人材育成については介護福祉士に2名が合格し、職員の質の向上に努めることができました。南海トラフ地震対策については、いまだ未実施であり、長期への課題となります。

### 経過の進行表

施設目標	数値計画	短期計画 H21～22年度	中期計画 H23～25年度	長期計画 H26～30年度	財源等 (単位：千円)
施設の改修	浴室の拡張 床の改修		浴槽、洗い場の拡張	浴槽、洗い場の拡張	自己資金 3,000
	実績		長期計画へ		
設備の更新	送迎車両整備		ワゴン車		
	実績	23年2月更新リース車	短期にて実施		
	健康器具整備	あんま機 ホットパック	あんま機 ホットパック	あんま機	
	実績	未整備	ホットパック 25年2月		

人材育成	介護福祉士 4 名		2 名	2 名	
	実績		達成		
	介護支援専門員 1 名		1 名		
	実績		0 名		
震災対策	利用者・職員、水 食料 3 日分備蓄		35 人	35 人	自己資金 200
	実績		5 人分		
財源	自己資金	1,000	4,500	200	5,700
	実績		2,082		
	補助金		2,500		
	実績		なし		

### 3) ななほし中川

#### 目標概要

ななほし中川は、学童保育を併設したあんしんの家として平成 23 年度に新設し、老人と子どものふれあいの場を大切にすることにより、中川地域福祉拠点としての機能を高めていくことを目指します。

- ① 南海トラフ地震対策としての水、食料等 3 日分の備蓄を進めます。
- ② 職員の専門性と心の優しさを育み、利用者サービスに努めます。
- ③ 中川地区の社会資源とし福祉拠点を目指します。

#### 短期計画実施状況

平成 25 年 12 月、グループホームうつのみやさんの家が移転・新築する。認知症のグループホームとあんしんの家が隣接することで、中川地区の福祉拠点としての重要性が増したと思われます。

人材育成においては、介護福祉士の資格者が 3 名と伸び悩んでおりなお一層の努力を必要とする。南海トラフ地震対策については、いまだ未実施であり、福祉拠点としても優先して整備を進めていきます。

経過の進行表

施設目標	数値計画		短期計画 H24～25 年度	長期計画 H26～30 年度	財源等 (単位：千円)
施設			グループホーム の移転・新築		自己資金 50,000
	実績		新築・移転		
人材育成	介護福祉士 4 名		2 名	2 名	
	実績		1 名		
	介護支援専門員 1 名		1 名		
	実績		0 名		
震災対策	利用者・職員、水 食料 3 日分備蓄		50 人	50 人	自己資金 400
	実績		10 名		
財源	自己資金				50,400
	実績				

4) グループホームうつのみやさんの家

目標概要

平成 25 年 12 月、中川地区に新築、移転をしました。ご利用者の高齢化、重度化に伴い限界を感じていた施設から、バリアフリーの施設になりサービス提供に変化がありました。今後は、ご利用者、ご家族が望まれるのであれば出来るだけ長く、住み慣れたグループホームで生活していただけるような施設を目指します。

中期計画実施状況

平成 25 年 12 月、ななほし中川の隣に新築、移転をしました。バリアフリーの施設になったことで施設の意義も変わってきました。今後は出来るだけ長くグループホームで生活していただけるようにより一層の職員のスキルアップが必要となります。

経過の進行表

施設目標	数値計画	短期計画 H21～22年 度	中期計画 H23～25年 度	長期計画 H26～30 年度	財源等 (単位：千円)
施設整備 平成 23 年度			グループホームの 移転・新築		自己資金 50,000
追加	実績		新築・移転		
人材育成	介護福祉士 3 名		正職臨時 1 名 パート 2 名		
	実績	2 名	5 名		
	認知症実践者研修		1 名	1 名	
	実績		0 名 長期計画へ		
	認知症対応型サービ ス事業管理者研修		1 名	1 名	
	実績		0 名 長期計画へ		
地域貢献	ボランティア受入		年間 20 人		
	実績		15 名		
災害対策	利用者・職員、水食 料 3 日分備蓄		利用者・職員被災 者 10 人分	利用者・ 職員被災者 10 人分	
	実績		水のみ		
環境保全	生ごみ資源化		100%削減		
			50%		

## 5) リハビリ専門デイサービス歩

### 目標概要

在宅生活に不安を抱える高齢者の方々の支援のために、リハビリテーションを提供することで障害部位の機能回復や残存機能の向上を図り、日常生活の維持・改善に努めることで、少しでも住み慣れた地域で生活していただきます。

- ・在宅生活における ADL・IADL の自立度の改善
- ・家族の介護量の軽減
- ・リハビリスタッフの人材育成

### 【 具体的目標 】

#### ①施設設備

H26～30 年度

デイ送迎車補助申請（軽自動車）（歩）

#### ②顧客満足

H26～30 年度計画

デイサービスの利用状況として、2 単位/日 各定員の 10 人を目指し、在宅の利用者様に対してサービスの充実を計ります。また、年平均稼働率 85%を目指します。

#### ③人材育成

理学療法士・作業治療士の新人教育  
福祉住環境コーディネーターの養成

### 平成 25 年度実績 歩

平成 25 年 7 月に開設いたしました。歩では、他の小規模リハビリ専門デイサービスとは違い、地域貢献のため、中～重度介護度の利用者も 1 単位あたり 2 名を上限に受けております。また、年度末には、ほぼ全ての曜日で定員の 10 名を満たすことが出来ました。

### 経過の進行表

施設目標	数値計画	H25 年度	H26～30 年度	財源等
設備の更新	送迎車輛	送迎車 軽ワゴン 2 台購入 リフト車 2 台（寄附）	送迎車（軽リフト） 補助申請	自己資金 日本財団助成
	実績	リース及び購入 游の里・福祉の里（寄附）		



施設目標	数値計画	H25 年度	H26～30 年度	財源等
顧客満足度	アンケート調査の満足率 のアップ		本人・ご家族の満足度 目標 85～90%	
人材育成	ケアマネージャー：2名 福祉住環境コーディネータ ー ：3名		期間を問わず、出来る限 り早期に達成	
環境保全	一般ゴミの削減		ゴミ量の5%削減	

## 6) リハビリ専門デイサービス歩 みま店

### 目標概要

在宅生活に不安を抱える高齢者の方々の支援のために、リハビリテーションを提供することで障害部位の機能回復や残存機能の向上を図り、日常生活の維持・改善に努めることで、少しでも住み慣れた地域で生活していただきます。

- ・在宅生活における ADL・IADL の自立度の改善
- ・家族の介護量の軽減
- ・リハビリスタッフの人材育成

### 【 具体的目標 】

#### ①施設設備

H26～30 年度

デイ送迎車補助申請（軽自動車）（歩 みま店）

#### ②顧客満足

H26～30 年度計画

デイサービスの利用状況として、1 単位/日 定員の 10 人を目指し、在宅の利用者様に対してサービスの充実を計ります。また、年平均稼働率 85%を目指します。

#### ③人材育成

理学療法士・作業治療士の新人教育  
福祉住環境コーディネーターの養成

平成 26 年度実績 歩 みま店  
平成 26 年 6 月に開設。

### 経過の進行表

施設目標	数値計画	H26 年度	H27～30 年度	財源等
設備の更新	送迎車輛	送迎車 軽ワゴン：2 台 ワゴンリフト車：1 台 (寄附)	送迎車（軽リフト） 補助申請	自己資金  日本財団助成
	実績	リース：2 台 福祉の里（寄附）		

施設目標	数値計画	H26 年度	H27～30 年度	財源等
顧客満足度	アンケート調査の満足率のアップ		本人・ご家族の満足度 目標 85～90%	
人材育成	歩全体での数値目標		期間を問わず、出来る限り早期に達成	
環境保全	一般ゴミの削減		ゴミ量の 5%削減	

## (4) 游の里

### 1) 游の里関連施設

#### 施設の目標

- ・ 在宅で暮らす高齢者、身体障害者の心身の機能回復を図り、利用者が一日でも長く居宅で生活できるよう在宅ケアの支援に努めます。
- ・ 利用者の意思及び人格を尊重し、安心して楽しんで過ごせるサービスの提供を心がけ、生きることへの自信や気力を促し、支え寄り添うケアをめざします。
- ・ 地域の中核施設となるべく、地域社会との交流を促進し、利用者が地域において総合的サービスの提供を受けることができるよう努めます。
- ・ 利用者が「にこやか」で「明るく健康的」に過ごすことができるよう、常にサービスの心を持ち続け「笑顔」「あいさつ」「まごころ」を利用者に届けるよう努めます。
- ・ 利用者又はその家族に対して、サービス内容及び提供方法について分かりやすく説明を行うと共に同意を得て実施し、その家族からは信頼して利用者を預けていただける施設づくりをめざします。

#### 事業所の現状及び主な計画

##### 石城あんしんの家れんげ

- ① 開所後2年が経過し、利用者も固定し経営も安定してきています。地域に根ざした施設として、ボランティアの受け入れ、地域行事に出向くなど積極的に地域との交流を図れるようにします。
- ② 職員自己評価を実施し、職員の段階に応じた研修等、人材育成を図る必要を感じました。また仕事にやりがいを感じ、満足感がもてる職場作りが必要です。

##### 具体的目標

###### 施設整備

- ・ ワゴン車をH23年までに更新します。
- ・ 専門職の育成
- ・ 介護福祉士 21年度 2人受験
- ・ 介護支援専門員 21年度 2人受験
- ・ 生ゴミの資源化 100%継続

##### 游の里デイサービスセンター

- ・ H20年度から自立・要支援の方を中心として介護予防の施設としてスタートしましたが、区分変更で要介護となられた方の引き続きの利用を希望される方が多く、介護予防の特色を生かして選択が出来るよう受け入れの範囲を広げます。
- ・ 西予市からの指定管理者として協定にもとづき、大規模改修、設備の更新など市と協議をしながら進めていきます。

## あんしんの家

- ・ 地域に密着した、泊まって通える施設ではあるが、ショートステイが2床しかなく、利用者の要望を満たすことが困難となり、地区外のショートステイを利用されています。常時3人は受け入れのできる体制を確立します。
- ・ 利用者数が開設当初の1日平均約3人からH20現在約11人と大幅に増加し施設が手狭となりました。建物の賃貸契約がH21.3.31で満了しますが、家主との協議の結果H21.10.31までに施設の移転を行います。

## 具体的計画

### 施設整備

#### 中期計画

厨房設備：H8開設時中古で設置してあった冷凍冷蔵庫、ガスオーブンを更新します。

あんしんの家：賃貸契約期間が満了する施設の移転をH21に行います。

#### 長期計画

入浴設備：H8開設時に設置し21年が経過した特殊浴槽、入浴リフトをH29に更新します。

送迎車両：H8開設時に導入し18年が経過したマイクロバスをH26に、19年が経過したワゴン車をH27に更新します。

給湯設備：耐用年数を5年経過したボイラー、ろ過装置をH28に更新します。

空調設備：耐用年数を7年経過した空調設備をH30に更新します。(ユートピアと折半)

## 人材育成

### 中期計画

H23までに正職・臨時の介護職員は100%が介護福祉士とします。

H25までにパートの介護職員は50%が介護福祉士とします。

H22までにケアマネージャーを1人養成します。

H21に1人、H25までに3人の認知症介護実践者研修修了者を養成します。

H25までに認知症対応型サービス事業管理者研修修了者2人を養成します。

H25までに障害福祉サービス管理責任者研修修了者1人を養成します。

## 地域貢献

### 中期計画

地域に開かれた福祉施設として、年間150人のボランティア受け入れを目指します。

## 災害対策

### 中期計画

H23までに南海トラフ地震対策として、利用者、職員及び地域住民被災者 合計100人分の水、食糧3日分を備蓄します。

## 環境保全

### 中期計画

H23までに生ゴミの資源化を図り、100%削減します。

### 中期計画実施状況等

施設整備について、游の里・車椅子対応マイクロバスは、福祉の里デイサービスが同様のバスを使用しなくなったため譲受しました。長期計画の更新は無となります。ワゴン車5号は、競輪公益資金補助金を頂ける事となったため前倒しで更新しました。重油ボイラーは、平成23年に西予市の意向により木質ペレットに更新していただきました。

人材育成について、中期に計画していた人員には達していませんが、介護福祉士等計画に向け取り組んでいます。資格取得の人員計画は、人事異動があり計画通り推移していません。災害対策の食料備蓄と環境保全の生ごみの資源化はまだ実施できていません。

長期計画について、あんしんの家での現在実施している短期入所事業継続のためは、平成30年3月31日までにスプリンクラーの設置が義務付けられています。よって長期計画の見直しを行ないました。同様の石城あんしんの家れんげについては、事業継続の有無と共に検討中です。

### 経過の進行表 石城あんしんの家れんげ

施設目標	数値計画	短期計画 H21～22年度	中期計画 H23～25年度	長期計画 H26～30年度	財源等 (単位：千円)
車両等購入に関する事	送迎車両		ワゴン車購入		自己資金 日本財団助成
	実績	H21年度ワゴン車完了	短期実施		
顧客満足	アンケート調査の不満割合削減		不満やや不満を70%削減		
	実績		50%削減		
人材育成	介護福祉士2人	2人			
	実績	1人			
	介護支援専門員2人	2人			
	実績	0人	1人		
	社会福祉士				
	実績	1人			
災害対策	水、食料等3日分の備蓄		被災者20人分	20人確保	
	実績		0人		
地域貢献	ボランティア受け入れ		年間20人		
	実績		35人		
地球にやさしい	生ゴミの資源化	100%継続			
	実績	100%継続			

経過の進行表 游の里デイサービスセンター

施設目標	数値計画	短期計画 H21～22 年度	中期計画 H23～25 年度	長期計画 H26～30 年度	財源等 (単位：千円)
施設整備	冷凍冷蔵庫		更新		自己資金 1,000
	実績		購入		
	スチーム オープン		更新		自己資金 1,500
	実績		なし	なし	
	特殊浴槽			更新 利用ないため 未定	自己資金 6,000
	実績				
	入浴リフト			更新	自己資金 3,500
	実績				
	マイクロバス 1 号			更新 実施済	自己資金 7,000
	実績		H25 年度福祉の 里から譲受		
	ワゴン 5 号			更新 実施済	自己資金 1,500 補助金 2,000
	実績		H24 年度競輪公 益資金補助を 頂き更新		
	ボイラー			更新 実施済	自己資金 1,500
	実績		H23 年度西予市 事業により木 質ペレットボ イラーに更新		
	濾過装置			更新	自己資金 2,000
	空調設備			更新	自己資金 2,500 補助金 7,500
人材育成	介護福祉士 6 人		正職・臨時職員 4 人 パート 2 人		
	実績	臨時 1 名	正職 3 人・パー ト 1 人		
	介護支援専門員	1 人			
	実績	0 人			
	認知症介護実践 者研修 1 人		1 人		
	実績		1 人		
障害福祉サービ		1 人			

	ス管理責任者研修1人				
	実績		1人		
地域貢献	ボランティア受入		年間 100人		
	実績		平均 130名		
災害対策	水・食糧3日分備蓄		利用者・職員被災者70人分	利用者・職員被災者70人分	
	実績		0人		
環境保全	生ゴミ資源化		100%削減	100%削減	
	実績		0%		

経過の進行表 あんしんの家

施設目標	数値計画	短期計画 H21～22年度	中期計画 H23～25年度	長期計画 H26～30年度	財源等 (単位：千円)
施設整備	建物施設	建物施設移転		スプリンクラー新規設置	自己資金 2,500 補助金 7,500
	実績	H21年度新築移転			
人材育成	介護福祉士2人		正職・臨時1人 パート1人		
	実績		0人		
	認知症介護実践者研修	1人	1人	1人	
	実績	0人	0人		
地域貢献	認知症対応型サービス事業管理者研修		1人		
	実績		0人		
地域貢献	ボランティア受入		年間 30人	30人	
	実績		9人		
災害対策	水・食糧3日分備蓄		利用者・職員被災者20人分	継続	
	実績		0人		
環境保全	生ゴミ資源化		100%削減	継続	
	実績		0%		



## (5) 皆楽園

### 1) 特別養護老人ホーム皆楽園、デイサービスセンター皆楽園

#### 目標概要

平成 20 年 4 月オープンの施設であり施設整備や改修は当面必要としていません。但し、特浴とリフト浴が平成 9 年購入物件を再利用した為、注意深く使用する必要があります。送迎用のリフト車に老朽化の激しいものがある為、有利な補助事業等を活用して更新する予定にしています。

事業推進の本旨たる介護サービスの充実については、理念と利用者アンケート等を踏まえ具体的な数値計画を以下に示し「老人に生きがいを」の実現としていきます。また、施設建設時の借入金を平成 30 年には完済し、可能な限り償却資産の更新費用も積立てていく計画としています。そのためには入所者の健康管理を徹底し入院日数の削減、短期入所者の稼働率アップ等で収入増を図りつつ管理運営費の削減を目標としています。

人材育成においては安定し良質なサービスを提供するに欠かせない要件であり良質な介護サービス提供を実践できるプロフェッショナル集団を育成してまいります。

自然を愛し環境に配慮した施設経営を推進し法人目標の数値をクリアするように努めてまいります。

#### 施設設備

長期計画：H26～30 年度

研修施設建設

デイ送迎車補助申請（軽自動車）

#### 顧客満足

長期計画：H26～30 年度

短期入所 稼働率 90% デイサービス 1 日平均 20 人を指し、在宅の利用者様に対してサービスの充実を計ります。また、機能訓練等により自立への支援をサポートしていきます。

#### 人材育成

長期計画

介護支援専門員を 3 人養成します。（現在資格者 5 人）

施設の介護福祉士を 5 人養成します。（常勤換算 70%を目指します。）

社会福祉士を 1 名養成します。

ユニットリーダー研修修了者 2 人を養成します。

### 中期計画実施状況

中期計画の中で補助申請をしていたリフト付きワゴン車は採用されなかった為、リースにて車両を入れ替え致しました。稼働率では、入所、短期ともに上回っていますが、デイは1日あたり17.6名と達成出来ていません。地域に受け入れられる施設を目指して更なる努力をしたいと思えます。開設して7年目を迎え、電化製品の修理や建物のメンテナンスを必要とすることが多くなってきました。内容によっては保守契約なども選択肢に入れて利用者様に不便をかけないよう努力したいと思っています。近い将来起こると予測されている南海トラフ地震に備えた災害に強い施設を目指しています。現在は140人が3日間生活出来る備蓄が出来ています。平成26年度予算で建設される研修施設が出来れば、更に地域住民の備蓄もしたいと思っています。 生ごみの資源化も80%となっています。環境保護のため、完全資源化を目指していきたいと思えます。

### 経過の進行表

施設目標	数値計画	短期計画 H21～22 年度	中期計画 H23～25 年度	長期計画 H26～30 年度	財源等 (単位：千円)	
設備の更新	リフト車更新	補助申請	不採用なら補助申請	デイ送迎車(軽)補助申請	自己資金 民間補助	
	実績	不採用	リースにて購入			
	特殊浴槽更新					
	実績	補助事業購入				
顧客満足	不満、どちらかという不満の70%削減		23年度アンケートで確認			
	実績	50～60%削減	50～90%削減			
	入居者の平均要介護度の維持、改善に努める	3.4	3.5	3.8		
	実績	4.0	3.7			
	居室稼働率		95%	95%	95%	
					97%	
	実績	95%	96%			
	短期入所稼働率		80%	80%	90%	
					実績	
	デイサービス利用者1日当たり		21人	23人	25人	
実績					19人	

専門職の育成	ユニットリーダー研修終了者4人	2人	H23年 2人	2人	
	実績	5人(1人異動)	4人(2人異動)		
	介護福祉士 13人	3人 常勤換算 50%	6人 常勤換算 70%	4人	5人 常勤換算 70% 以上
				実績	
	社会福祉士			1人	
	介護支援専門員3人	2人	H25年1人		3人
				実績	
地域貢献	ボランティア受入150人/年	120人/年	150人/年	150人/年 100人/年	
	実績	63人/年	43人/年		
災害対策	水・食糧3日分 備蓄	入所者、利用者 被災者+職員計 100人	21年実績+被災 者30人計130	中期実績+被災者100人	自己資金 450
				避難施設兼研修施設建設	自己資金 410,000
実績	食糧50人 飲料水300人	120人分 (1人×3食×3日 を1とする)			
環境保全	生ゴミ資源化100%	検討	達成	100%	自己資金 1,460
	実績	90%	生ゴミ処理機 購入80%		
	可燃ゴミ10% 削減	10%削減	継続	継続	
	実績	24%増加	33%増加		

(6) 特別養護老人ホームあけはま荘 明浜デイサービスセンター

目標概要

私たちは、安心・尊厳・信頼を基本理念に掲げ、ご利用者様に安心して尊厳のある生活の場を提供し、皆様から愛され、信頼される施設を目指しております。そのために、自立支援介護の実践、研究を深め、尊厳のある生活ができる施設を目指し、終末期の看取り介護の実践を行い、最後まで生活のできる施設、最後を迎えたい施設となるよう努力したいと考えております。

- ① 昭和 51 年、明浜町（現西予市明浜町）で誕生した当施設は、平成元年の大規模改修工事を経て、平成 21 年 4 月 1 日から当法人に経営が移譲されました。建物や各設備ともに老朽化が進んでおり、自己資金や補助金等の有効活用により、整備を検討しております。又建物の老朽化、耐用年数を考え、今後新築、移転等を含め中長期で検討をしていきます。
- ② 職員が働きやすい職場、働きがいがある職場となるよう、職員一人ひとりが経営に参加できるよう提案、意見が集約できる仕組みの導入を検討いたします。
- ③ デイサービスセンターにおいては、利用者満足度を高められるよう、接遇や介護技術の向上が図れるよう研修等を行っていきます。

短期計画実施状況

給食業務の外部委託については、中期計画より前倒し、平成 25 年度より実施することができました。また老朽化しておりました、特殊浴槽につきましては、計画のとおり更新を行いました。また人材育成、利用者のサービス向上の観点から、資格取得に助成を行う等した結果、社会福祉士 1 名、介護福祉士 7 名、精神保健福祉士 1 名が誕生いたしました。  
災害対策として、水・食料 3 日分の備蓄で計画を行っていましたが、今後 4 日分増の、7 日分が備蓄できるよう変更いたします。

施設目標	数値計画	短期計画 H24～25 年度	中長期計画 H26～30 年度	財源等 (単位：千円)
施設整備	冷凍冷蔵庫	更新		
	実績	更新済		
	空調設備		更新	自己資金 40,000 又はリース
	ボイラー 2 台	更新 (旧館)	更新 (旧館・新館)	自己資金 5,000 補助金 5,000
	実績	中長期計画へ		

	特殊浴槽	更新		
	実績	更新済		
	衣類乾燥機	更新1台	更新1台	自己資金 2,000
	実績	修繕で対応 中長期計画で検討		
	車両整備		リフト普通・軽各1台	自己資金 3,000 又はリース
	介護ベット		30台更新	6,000
	利用者コールシステム	更新	更新	自己資金 5,000 又はリース
	実績	中長期計画へ		
	普通浴改修		実施	自己資金 3,000
	トイレ増設工事		実施	自己資金 3,000
	照明器具(LED)		実施	自己資金 2,000
	居室テレビ視聴工事	実施	実施	自己資金 2,000
	実績	中長期計画へ		
	給食業務の外部委託	委託の検討		
	実績	25年度より実施		
人材育成	社会福祉士	2人	1人	
	実績	1人		
	介護福祉士	8人	10人	
	実績	7人		
	介護支援専門員	3人	2人	
	実績	0人		
	ボランティア受入	年間100人	年間100人	
地域貢献	実績	108人		
	小・中学校との交流	年2回	年2回	
	実績	年2回		
	巡回相談		年5回	
災害対策	水・食料3日分備蓄	水・食料3日分備蓄	水・食料7日分備蓄	
	実績	備蓄完了		

環境保全	生ゴミ資源化	100%削減	100%削減	
	実績	100%継続		

(7) ケアハウスはまゆう

目標概要

ケアハウスは、入浴や排泄、洗濯など、日常生活を行うことができるが身体機能が低下しつつあり、自立した生活（自炊が出来ない程度）が心配な高齢者に利用してもらうための施設です。また要介護認定を受けられ、要支援以上になられた方は、入浴、排泄、食事等の必要な介護を受けながら生活ができるので、入所後、長い期間利用が可能な施設となっています。

- ① 当施設は平成8年4月に明浜町（現西予市明浜町）が開設、運営し、平成21年4月1日から当法人の経営に移譲されました。現在、建物や各設備ともに老朽化が進んでおり、自己資金及び補助金の有効活用によって、整備を検討しております。
- ② 平成25年度より、特定入所者生活介護事業を開始し、介護認定を受けた利用者の方も安心して利用いただいております。
- ③ 一般利用者及び特定利用者ともに満足度を高めるために、レクリエーション、余暇活動、機能訓練の充実が図れるようにして行きます。

短期計画実施状況

特定施設入居者生活介護事業について検討、準備を行い、平成25年4月1日より事業を開始することができました。また災害対策として、水・食料3日分の備蓄で計画を行っていましたが、今後4日分増の、7日分が備蓄できるよう変更いたします。

施設目標	数値計画	短期計画 H24～25年度	中長期計画 H26～30年度	財源等 (単位：千円)
施設整備	空調設備	更新	更新	自己資金 4,000
	実績	適宜更新中		
	ボイラー及びろ過機		更新	自己資金 5,000
	車両整備		軽自動車更新	自己資金 2,000 又はリース
人材育成	社会福祉士 介護福祉士 介護支援専門員	あけはま荘分に含まれる	あけはま荘分に含まれる	

	実績	社会福祉士 1 名 介護福祉士 7 名		
経営満足度の向上	特定入所者生活介護事業に向けて	検討	実施	
	実績	25 年度より事業開始		
災害対策	水・食料 7 日分備蓄	水・食料 3 日分備蓄	水・食料 7 日分備蓄	
	実績	備蓄完了		
環境保全	生ゴミ資源化	100%削減	100%削減	
	実績	100%継続		